

資料編



1. 検討経緯	253
2. 区民意見	263
3. その他	298

1

検討経緯

1-1 検討経過

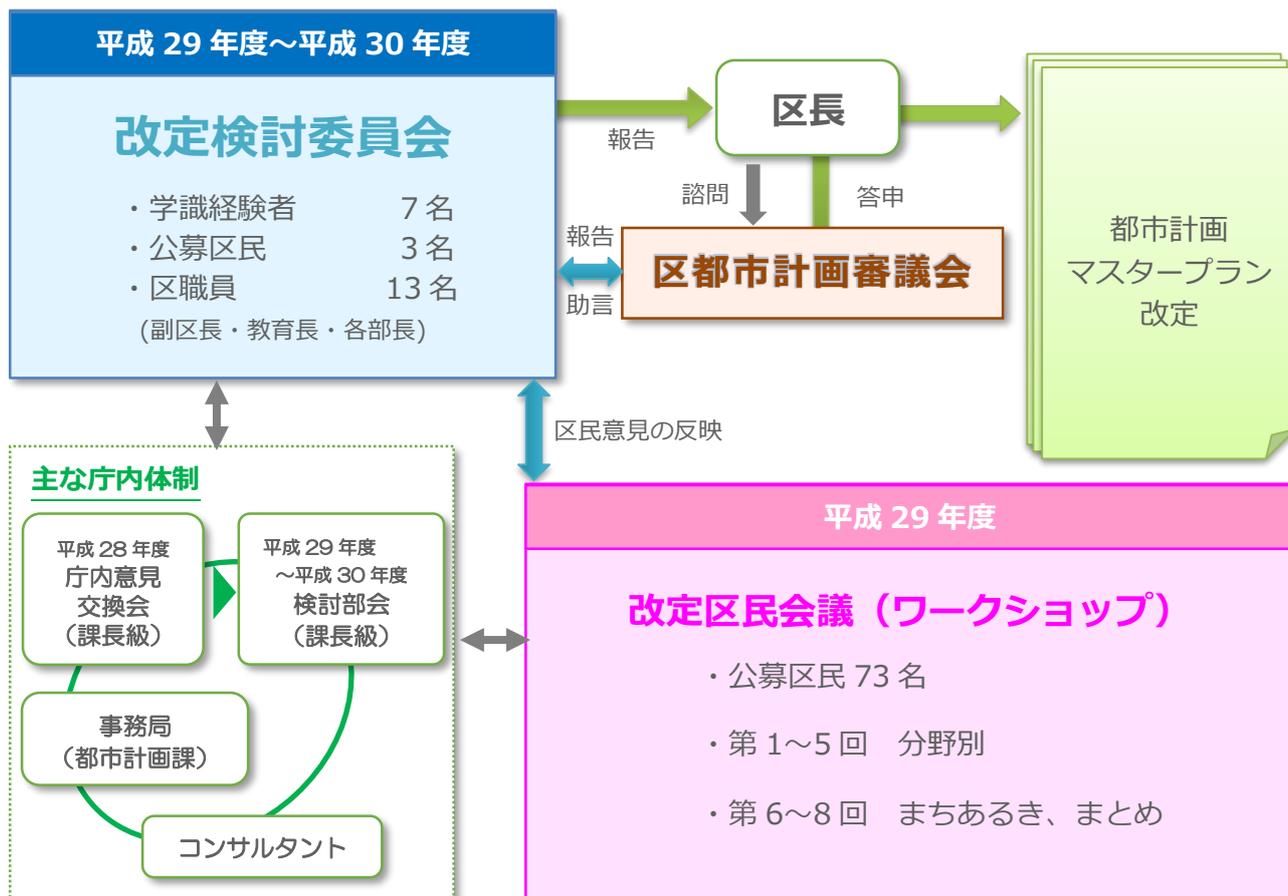
平成28(2016)年度：基礎調査、改定骨子案の検討・策定

平成29(2017)・平成30(2018)年度：改定素案及び案の検討・策定、改定・公表

	改定検討委員会	改定検討部会	区民等の意向把握	区都市計画審議会
平成28年度		庁内意見交換会 第1回[11月7日(月)] 第2回[12月12日(月)] 第3回[2月13日(月)] 第4回[3月28日(火)]		
平成29年度	第1回[5月19日(金)] 第2回[10月30日(月)] 第3回[12月15日(金)] 第4回[2月13日(火)]	第1回[9月15日(金)] 第2回[12月4日(月)] 第3回[1月31日(水)]	改定区民会議(ワークショップ) 第1回[6月11日(日)] 第2回[7月8日(土)] 第3回[7月15日(土)] 第4回[8月6日(日)] 第5回[9月2日(土)] 第6回[10月22日(日)] *1月21日(日)に変更 第7回[11月26日(日)] 第8回[1月28日(日)] 改定区民会議パネル展 [3月5日(月)~30日(金)]	中間報告 [12月13日(水)]
平成30年度	第5回[7月11日(水)] 第6回[11月19日(月)]	第4回[6月25日(月)]	改定区民会議参加者への改定素案報告会 [8月5日(日)] 改定素案 区民説明会 [9月1日(土)] 改定素案 巡回説明会 中間意見募集 [9月3日(月)~14日(金)] パブリックコメント [1月10日(木)~23日(水)]	改定素案報告 [7月20日(金)] 諮問・答申 [12月21日(金)]

【検討体制と手順】

- 平成 28 年度に「庁内意見交換会」を開催。(平成 29 年度に「検討部会」へ移行)
- 平成 29 年度に学識経験者、公募区民、区職員からなる「改定検討委員会」を設置。また、区民意向を計画に反映することを目的に、「改定区民会議（ワークショップ）」を開催。
- 計画案は、「区都市計画審議会」の諮問・答申を経て平成 31(2019)年 3 月に改定



大村委員長から多田区長への報告の様子（平成 30 年 11 月 19 日）

1-2 改定検討委員会などの概要

(1) 改定検討委員会

平成29年(2017)度に、都市計画、住宅、交通、環境・景観、防災の各分野の専門家である学識経験者、公募区民、区職員からなる「改定検討委員会」を設置し、改定内容の検討を行いました。

① 設置要綱

江戸川区街づくり基本プラン・住まいの基本計画改定検討委員会設置要綱

制定 平成29年4月1日

要綱第10号

(趣旨)

第1条 都市計画法(昭和43年法律第100号)第18条の2に定める都市計画に関する基本方針を含む、総合的かつ継続的な街づくりの基本方針とする江戸川区街づくり基本プラン(以下「都市計画マスタープラン」という。)及び江戸川区の住まいづくりの目標を掲げている住まいの基本計画(以下「住宅マスタープラン」という。)を改定するために江戸川区街づくり基本プラン・住まいの基本計画改定検討委員会(以下「改定検討委員会」という。)の設置及び運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

(設置目的)

第2条 都市計画マスタープラン及び住宅マスタープランの改定を行うに当たり、広く知識を有する学識経験者等から意見を聴き、検討を深めることを目的として、改定検討委員会を設置する。

(検討事項)

第3条 改定検討委員会は、次の事項を検討し、その結果を江戸川区長(以下「区長」という。)に報告するものとする。

- (1) 都市計画マスタープランの改定に関すること。
- (2) 住宅マスタープランの改定に関すること。
- (3) その他区長が必要と認めること。

(構成)

第4条 改定検討委員会は、別表に掲げる学識経験者、公募区民、副区長、教育長及び各部長を委員として構成し、各委員は区長が委嘱し、又は任命する。

(委員の任期)

第5条 委員の任期は、委嘱又は任命の日から都市計画マスタープラン及び住宅マスタープランの改定について第3条における報告が完了した日までとする。

(委員長及び副委員長)

第6条 改定検討委員会には、委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長は、委員の互選によって選出する。
- 3 副委員長は、委員長が指名する委員をもって充てる。
- 4 委員長は、改定検討委員会を代表し、会務を総括する。
- 5 副委員長は、委員長を補佐し、委員長が欠席の際にはその職務を代理する。

(会議)

第7条 改定検討委員会は、委員長が招集する。

2 改定検討委員会は、委員長が議長となる。

3 委員長は、必要に応じて委員以外の者の出席を求め、意見又は説明を聴くことができる。

(検討部会)

第8条 改定検討委員会にその検討事項に係る専門的事項をとりまとめるため、都市計画マスタープラン改定検討部会及び住宅マスタープラン改定検討部会（以下「検討部会」という。）を置く。

2 検討部会は、学識経験者及び江戸川区職員をもって構成する。

3 検討部会は、検討の経過及び結果を改定検討委員会に報告する。

(分野別検討会)

第9条 検討部会は、必要があると認めるときは、分野別検討会（以下「検討会」という。）を設置することができる。

2 検討会は、江戸川区職員をもって構成する。

3 検討会は、検討の経過及び結果を検討部会に報告する。

(委員の責務)

第10条 委員は、職務に関して知ることのできた秘密を他に漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。ただし、江戸川区又は改定検討委員会が公表した情報についてはこの限りでない。

(事務局)

第11条 改定検討委員会には、都市開発部都市計画課及び住宅課で構成する事務局を設置する。

(雑則)

第12条 この要綱に定めるもののほか、改定検討委員会の組織及び運営に関する必要事項は別に定める。

別表

構成	委員	構成	委員
学識経験者 (7名)	都市計划分野	江戸川区職員 (13名)	副区長
	都市計划分野		教育長
	住宅分野		経営企画部長
	住宅分野		危機管理室長
	環境・景観分野		総務部長
	交通分野		都市開発部長
防災分野	環境部長		
江戸川区民 (3名)	公募区民		文化共育部長
	公募区民		生活振興部長
	公募区民		福祉部長
			子ども家庭部長
			健康部長
			土木部長

② 委員名簿

	区分	委員	(任期)	所属等
委員長	学識経験者 (都市計画)	大村 謙二郎		筑波大学名誉教授
副委員長	学識経験者 (都市計画)	上山 肇		法政大学大学院 政策創造研究科教授
委員	学識経験者 (住宅)	井上 由起子		日本社会事業大学 専門職大学院教授
委員	学識経験者 (住宅)	森永 良丙		千葉大学大学院 工学研究院准教授
委員	学識経験者 (環境・景観)	服部 勉		東京農業大学地域環境科学部 造園科学科教授
委員	学識経験者 (交通)	岩倉 成志		芝浦工業大学工学部 土木工学科教授
委員	学識経験者 (防災)	加藤 孝明		東京大学生産技術研究所 都市基盤安全工学 国際研究センター准教授
委員	公募区民	斎藤 寛彰		
委員	公募区民	佐々木 美貴		
委員	公募区民	鈴木 正彦		
委員	区職員	原野 哲也 (～H29.7.31) 山本 敏彦 (H29.9.21～) 新村 義彦 (H30.10.24～)		副区長
委員	区職員	白井 正三郎 (～H30.3.31) 斉藤 猛 (H30.4.1～)		教育長
委員	区職員	山本 敏彦 (～H30.3.31) 千葉 孝 (H30.4.1～)		経営企画部長
委員	区職員	浅川 賢次 (～H30.3.31) 山口 正幸 (H30.4.1～)		危機管理室長
委員	区職員	畔柳 文泰 (～H30.3.31) 弓場 宏之 (H30.4.1～)		総務部長
委員	区職員	新村 義彦 (～H30.10.31) 町山 衛 (H30.11.1～)		都市開発部長
委員	区職員	岩瀬 耕二		環境部長
委員	区職員	石塚 幸治		文化共育部長
委員	区職員	高原 伸文		生活振興部長
委員	区職員	斉藤 猛 (～H30.3.31) 岡村 昭雄 (H30.4.1～)		福祉部長
委員	区職員	松尾 広澄		子ども家庭部長
委員	区職員	森 淳子		健康部長
委員	区職員	立原 直正		土木部長

③ 検討内容

年	回	開催日	主な内容
平成29年度	第1回	5月19日	<ul style="list-style-type: none"> ■ 改定の視点及び改定骨子案について ■ 改定の考え方・方向性について
	第2回	10月30日	<ul style="list-style-type: none"> ■ 改定区民会議（ワークショップ）の中間報告について ■ 改定素案（序章～将来都市構造）について
	第3回	12月15日	<ul style="list-style-type: none"> ■ 改定骨子（修正案）について
	第4回	2月13日	<ul style="list-style-type: none"> ■ 改定区民会議（ワークショップ）の最終報告について ■ 都市計画マスタープラン素案について（全体構想まで）
平成30年度	第5回	7月11日	<ul style="list-style-type: none"> ■ 都市計画マスタープラン素案について
	第6回	11月19日	<ul style="list-style-type: none"> ■ 都市計画マスタープラン案について

(2) 改定検討部会

平成28年（2016）度に課長級による庁内意見交換会を4回開催し、改定骨子案を作成しました。
平成29年（2017）度・平成30（2018）年度は、都市戦略課、施設課を新たに加え、改定検討部会を4回開催し、計画内容を検討しました。

経営企画部	企画課長	福祉部	福祉推進課長
	オリンピック・パラリンピック推進担当課長	子ども家庭部	子育て支援課長
	都市戦略課長	健康部	健康推進課長
危機管理室	防災危機管理課長	環境部	環境推進課長
総務部	総務課長	文化共育部	文化課長
都市開発部	都市計画課長 ◎	生活振興部	地域振興課長
	住宅課長		産業振興課長
	まちづくり調整課長	土木部	計画調整課長
	まちづくり推進課長		街路橋梁課長
	市街地開発課長		区画整理課長
	建築指導課長		水とみどりの課長
	施設課長		教育委員会

◎：座長

(3) 改定区民会議（ワークショップ）

改定にあたり区民意向を把握するため、平成29（2017）年6月から平成30（2018）年1月までの間に計8回の改定区民会議（ワークショップ）を開催しました。

第1回から第5回は、都市計画や環境・景観など分野別に学識経験者による講義を受け、その後グループごとに各地域の魅力や課題について活発な意見交換を行いました。第6回は、小岩駅周辺でのまちあるきを実施、第7回・第8回は、分野横断的な内容について意見交換を行い、各地域の将来像と基本目標を作成しました。

	開催日[テーマ]	主な内容
第1回	6月11日 [都市計画] （タワーホール船堀 2階「平安」）	【委員長あいさつ】大村 謙二郎 筑波大学名誉教授 【講義】「都市計画 ～江戸川区の“まちづくり”を考える～」 （上山 肇 法政大学大学院教授） 【ワークショップテーマ】 「地域の良いところ、悪いところ」 「住みたいまちって何？」 【区民参加者】55名（地域ごとにファシリテータと区職員が参加） 【地域別内訳】小松川・平井地域：5名 小岩地域：10名 （区 民）中央地域：9名 鹿骨地域：9名 葛西北部地域：7名 東部地域：6名 葛西南部地域：9名
第2回	7月8日 [環境・景観] （タワーホール船堀 2階「平安」）	【講義】「地域らしさとアメニティ ～環境とまちづくり～」 （服部 勉 東京農業大学教授） 【ワークショップテーマ】 「身近な地域資源って何？」 「地域資源の活用法を考えてみよう」 【区民参加者】58名（地域ごとにファシリテータと区職員が参加） 【地域別内訳】小松川・平井地域：5名 小岩地域：11名 （区 民）中央地域：9名 鹿骨地域：8名 葛西北部地域：7名 東部地域：7名 葛西南部地域：11名
第3回	7月15日 [住宅] （グリーンパレス 5階「孔雀」）	【講義】「地域包括ケア・地域共生社会と住まい」 （井上 由起子 日本社会事業大学専門職大学院教授） 「住まいの維持・管理・地域貢献について」 （森永 良丙 千葉大学大学院准教授） 【ワークショップテーマ】 「ライフステージに応じてどんな暮らしがしたいですか？」 「そのために必要なモノやアイディアは何ですか？」 【区民参加者】56名（地域ごとにファシリテータと区職員が参加） 【地域別内訳】小松川・平井地域：5名 小岩地域：9名 （区 民）中央地域：10名 鹿骨地域：10名 葛西北部地域：7名 東部地域：7名 葛西南部地域：8名

	開催日[テーマ]	主な内容
第4回	8月6日 [防災] (篠崎文化プラザ3階 第一、第二講義室)	【講義】「防災都市づくり」 (加藤 孝明 東京大学生産技術研究所 准教授) (オブザーバー：上山 肇 法政大学大学院教授) 【ワークショップテーマ】 「災害に強く安心して暮らせるまちづくりに 重要なことって何？」 【区民参加者】46名(地域ごとにファシリテータと区職員が参加) 【地域別内訳】小松川・平井地域：5名 小岩地域：9名 (区 民) 中央地域：8名 鹿骨地域：8名 葛西北部地域：2名 東部地域：7名 葛西南部地域：7名
第5回	9月2日 [交通] (グリーンパレス 5階「孔雀」)	【講義】「江戸川区の交通改善を考える上で考慮すべき事項」 (岩倉 成志 芝浦工業大学教授) 【ワークショップテーマ】 「地域交通にどんな課題があるか考えよう」 「みんなが便利で楽しく出かけるには？」 【区民参加者】54名(地域ごとにファシリテータと区職員が参加) 【地域別内訳】小松川・平井地域：6名 小岩地域：10名 (区 民) 中央地域：11名 鹿骨地域：10名 葛西北部地域：4名 東部地域：8名 葛西南部地域：5名
第6回	10月22日 荒天のため 1月21日に変更 [まちあるき] (小岩区民館3階 「集会室1・2」)	【内容】小岩地域(小岩駅周辺)を歩き、実際のまちづくりの 成果やまちの様子について確認 (講評：森永 良丙 千葉大学大学院准教授) 【区民参加者】26名(案内・説明を行う区職員が参加) 【地域別内訳】小松川・平井地域：3名 小岩地域：7名 (区 民) 中央地域：6名 鹿骨地域：2名 葛西北部地域：1名 東部地域：3名 葛西南部地域：4名
第7回	11月26日 [全体のまとめ(1)] (タワーホール船堀 2階「福寿」)	【講義】「WSを振り返りながら地域の将来像と基本目標を考える」 (上山 肇 法政大学大学院教授) 【ワークショップテーマ】 「地域の将来像と基本目標を考えよう」 【区民参加者】46名(地域ごとにファシリテータと区職員が参加) 【地域別内訳】小松川・平井地域：6名 小岩地域：8名 (区 民) 中央地域：9名 鹿骨地域：4名 葛西北部地域：4名 東部地域：8名 葛西南部地域：7名
第8回	1月28日 [全体のまとめ(2)] (タワーホール船堀 2階「福寿」)	【委員長あいさつ】 大村 謙二郎 筑波大学名誉教授 【ワークショップテーマ】 「地域の将来像と基本目標を仕上げよう」 【総評】 大村 謙二郎 筑波大学名誉教授 上山 肇 法政大学大学院教授 【区民参加者】44名(地域ごとにファシリテータと区職員が参加) 【地域別内訳】小松川・平井地域：5名 小岩地域：9名 (区 民) 中央地域：9名 鹿骨地域：5名 葛西北部地域：4名 東部地域：6名 葛西南部地域：6名

改定区民会議（ワークショップ）参加者名簿

地域	参加者氏名			
平井地域 小松川・	鈴木 正彦 吉田 誠一	露木 尚文	中島 万里子	吹野 晴美
中央地域	朝比奈 香織 島田 久市 林 勇雄	朝比奈 智恵美 関口 昌宏 福田 良男	小久保 恵 高松 功 六角 秀行	小久保 夢乃 西野 亨
葛西地域 (北部)	伊東 博史 浜野 実花	大津 謙一	熊野 美緒	鈴木 永恵
葛西地域 (南部)	青谷 懿 奥田 良三 武内 敏幸	遠藤 薫里 片岡 泰子 縄 義生	大室 辰夫 斎藤 寛彰 目黒 周作	奥田 建蔵 塩谷 文子
小岩地域	市川 滋 海老原 政秀 寺崎 茂夫	伊藤 房代 里村 博行 林 信弘	井上 幸男 津端 知也	榎本 淳三郎 寺崎 勝久
鹿骨地域	安達 義勝 島田 直子 深江 一之	大濱 曠 高橋 輝行 村瀬 光一	北原 崇好 竹内 菊雄 和田 敏明	相良 定雄 中川 博喜
東部地域	芦田 正次 深澤 清	佐々木 美貴 牧野 由美	竹内 治夫 元澤 晴美	田中 良子

※50 音順、敬称略

公募区民 73 名（掲載 60 名）



大村委員長の挨拶の様子



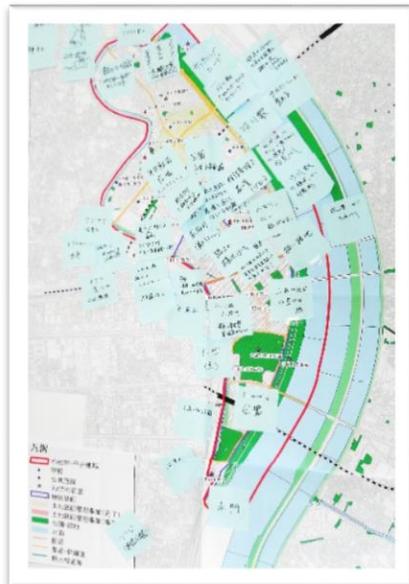
学識経験者による講義の様子



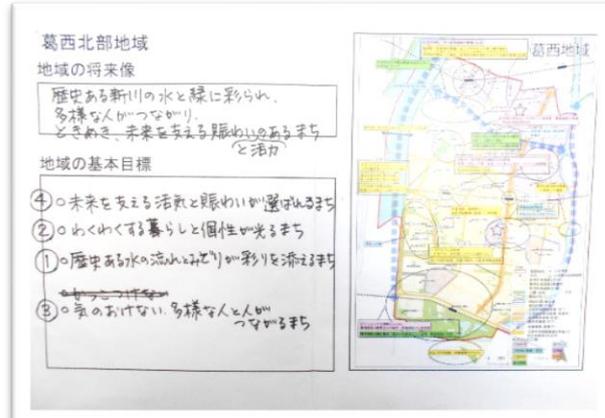
地域ごとの話し合いの様子



発表の様子



各グループでまとめた意見の成果



各グループが作成した地域の将来像と基本目標

2

区民意見

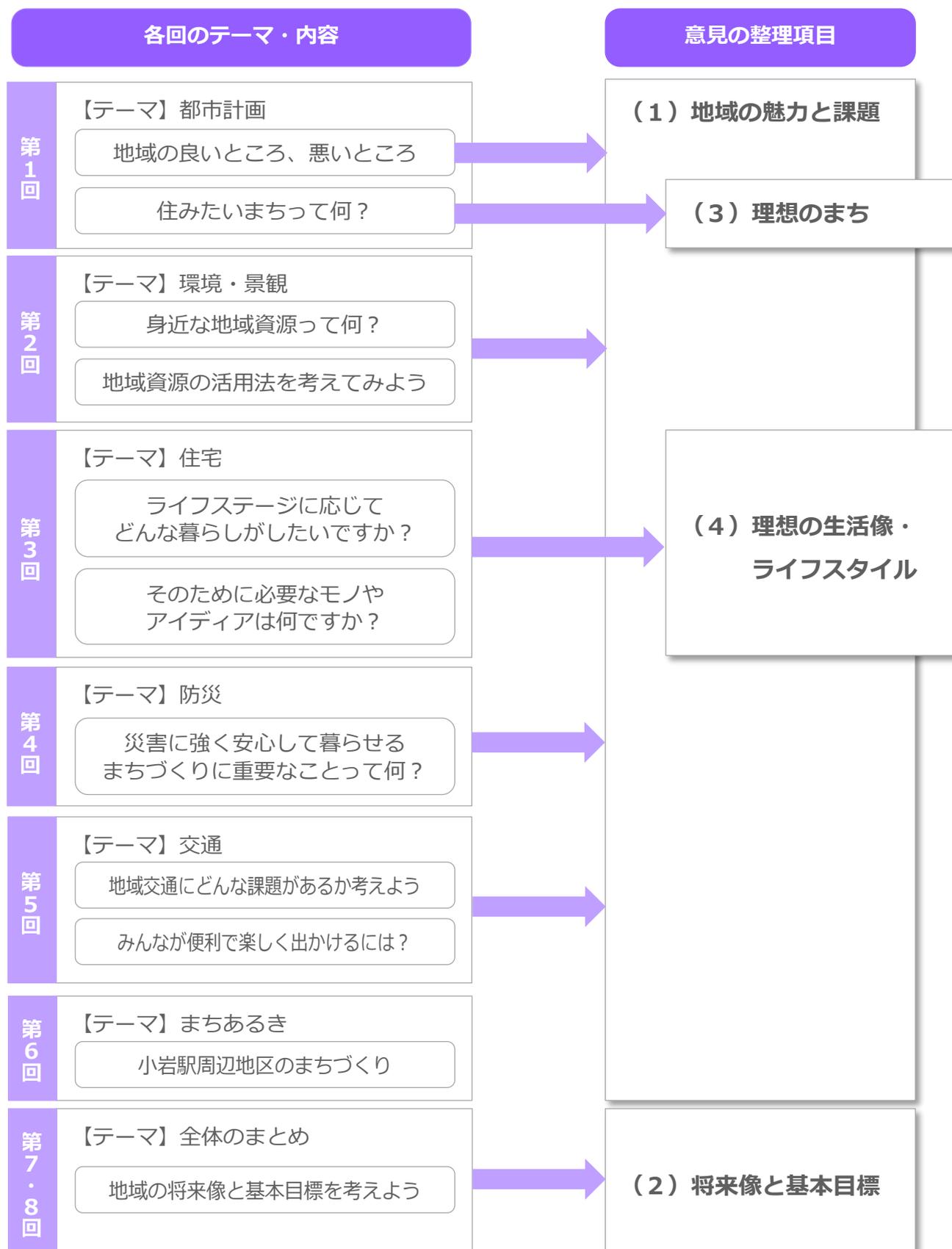
2-1 公募区民委員の意見

都市計画マスタープランの改定にあたって、公募区民委員から次のような意見を頂きました。

No	意見の要旨
●将来都市像に関すること	
1	<ul style="list-style-type: none"> ・将来都市像は福祉寄りの内容に偏りすぎないようにした方が良い。 ・若い世代を呼び込むためには、「穏やかに暮らせる」というだけは弱いと思う。 ・江戸川区は居住コスト面で住みやすく、その結果、起業につながるという視点も重要である。
●住環境に関して	
2	<ul style="list-style-type: none"> ・住環境の整備方針では、協働・共生の仕組みづくりが重要である。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・江戸川区は3世代で住んでいる人が多い。お年寄りが元気で孫の面倒をみられることが重要である。 ・高齢者は持ち家を若者に貸し出して、便利な賃貸住宅に住み替えることができるシステムが必要である。
●水とみどりについて	
4	<ul style="list-style-type: none"> ・区外の多くの人に江戸川区に来てもらい、魅力を感じてもらうことが重要である。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・葛西沖三枚洲はラムサール条約への登録の可能性を踏まえ、葛西臨海公園・葛西海浜公園とともに、「自然交流拠点」として位置付けてほしい。
●景観に関して	
6	<ul style="list-style-type: none"> ・緑や水辺が豊かであるなど江戸川区の良さが、区外の人に伝わっていない。 ・地域の玄関口、顔である駅前には、緑や水辺が豊かな景観になっていることが重要。
●環境に関して	
7	<ul style="list-style-type: none"> ・環境まちづくりに取り組む背景を記述すべき。 ・ラムサール条約登録の動きもあり、西なぎさ、東なぎさを地図に加えるべき。
●実現化方策に関して	
8	<ul style="list-style-type: none"> ・地域でエリアマネジメントを継続的に取り組むことが重要。
9	<ul style="list-style-type: none"> ・これからのまちづくりは、地域の意見を受け止める場を設けることが重要。

2-2 改定区民会議の意見と成果

改定区民会議（ワークショップ）で出た意見を「（１）地域の魅力と課題」、「（２）将来像と基本目標」、「（３）理想のまち」、「（４）理想の生活像・ライフスタイル」の４つの項目に整理しました。以下に、各回のテーマ・内容と意見の整理項目の対応関係を示します。



1.小松川・平井地域

(1) 地域の魅力と課題

魅力

【景観資源】

昔ながらの道筋（旧中川の土手 平井七丁目～操車所）

安全に歩くことができる路地空間（自動車が進入してこない）

【荒川】

親水性、千本桜、緑地空間、平井運動公園、眺望景観（東京タワー、富士山、スカイツリーが一望できる）、サイクリングロード、ウォーキングコース

【景観資源】

高速道路の夜景景観

【平井駅】

平井駅は都心へのアクセスがよい

【旧中川】

親水性、ライトアップ景観、ビオトープ、河津桜・アジサイ、灯篭流し

【景観資源】

歴史文化資源（平井地区の寺社群、富士塚）がある
江戸切子などの伝統工芸

【景観資源】

寺社群

【小松川地区】

- ・市街地再開発事業により、道路や公園などの都市基盤が充実
- ・道路が広く走りやすい

【さくらホール】

プールがあるなど、子どもが遊べる公共施設

【景観資源】

路地園芸の草花、ゆりのき橋通りの桜・紅葉

【大島小松川公園】

- ・豊かな緑、旧中川と荒川を結ぶ公園、ツツジの花、公園で子どもと高齢者が一緒に空間を共有している風景
- ・防災機能を有した公園

【土木景観資源】小松川閘門

【地区全体の魅力】

- ・食品・日用品の買い物には困らない
- ・川に囲まれたまち（平井・逆井（平井の旧名）・小松川アイランド）
- ・旧中川と荒川の水辺は散歩していて気持ちがいい
- ・気を張らないで暮らせる下町らしさ
- ・コミュニティ、町会がしっかりしている
- ・古くから住んでいる人が多く、親切
- ・昔からの住人同士のお付き合いがある
- ・比較的治安が良い



課題

【荒川】

- ・河川敷は自然を活かしたビオトープのようにになっているが、景観面での配慮もあると良い
- ・旧中川と荒川の水辺空間が連続していない区間が残念（北側）

- ・工場撤退などで跡地が空地となっている

【平井六・七丁目】

- ・住宅が密集しており道路が狭い
- ・道路が曲がりくねって、避難が分かりにくい
- ・かつて冠水した地区がある
- ・バスの便が悪い
- ・古い家が多く、倒壊の危険

- ・道路が不整形で災害時に避難しにくい

【蔵前橋通り】

- ・自転車道がない
- ・蔵前橋通りでまちが分断されていて、行き来がむずかしい

平井駅前通りとゆりのき橋通りが交差する所は平井の顔として綺麗にしてほしい

住宅が密集し、道路が狭い

工場撤退などで跡地が空地となっている

【平井駅周辺】

- ・商店街の低迷（活気がない、閉店が多い、店舗の多様性が不足、書店がないなど）
- ・地域の顔としてもっと景観・美観に配慮することが必要
- ・北側は4m未満の細い道路が多い、幹線道路が少ない
- ・道が狭い、自転車が車道を走ると危険
- ・駐輪場が不足している
- ・市街地再開発事業をまちの魅力向上の機会として有効活用する

【平井一・二・四丁目】

- ・一方通行が多く、迷路のようにになっている
- ・道が狭く、車道と歩道が分離していないため危険
- ・一方通行が多く、回り道しないといけない
- ・災害危険度ランキングの上位（建物倒壊、火災、帰宅困難）

【補助第144号線】

補助第144号線の整備にあたっては、生活道路へ通過交通が流入しないよう配慮してほしい

小松川橋の平井側から小松川警察署へ行く左側の自転車車線が整備されていない

【東大島駅周辺】

- ・にぎわいが不足
- ・東大島駅⇔平井地区の夜道が暗く歩きづらい

【地区全体の課題】

- ・住宅街を大型トラックが通る
- ・区内各地域へのアクセスが良くない
- ・地域資源を案内する表示が不足（自転車で土手に上がるところの表示や方向が分かりにくい）
- ・平井地区は、小松川地区に比べて緑が少ない（公園、街路樹の緑が少ない）
- ・亀戸（江東区）が旧中川で行っているアジサイまつりを平井でも開催できないか
- ・旧中川の堤防が江東区側より低い
- ・荒川の堤防の耐震工事が未完成
- ・空き家が増えている
- ・ゴミ出しのマナーがよくない（外国人の方などはルールを知らないのではないか）
- ・駐輪場が少ない（商店街など）
- ・平井の知名度が低い
- ・スカイツリーと観光面で連携できないか

1.小松川・平井地域

(2) 将来像と基本目標

将来像

水辺豊かな活気と温もりのある 心弾むまち

基本目標

- 活力と利便性に富んだ、そして回遊性のあるまちの形成
- 川辺とみどりが調和する自然豊かなまちの形成
- コミュニティが豊かで災害に強く安心して暮らせるまちの形成
- 誰もが幸せに暮らせる多文化共生のまちの形成



(3) 理想のまち

- ・ **交通**：区内の他地域へ行きやすいまち、歩行者・熟年者・車椅子利用者が通行しやすいまち、バスなどの交通利便性が良いまち、歩行者・車が利用しやすい道が整備されているまち
- ・ **景観・美観**：ゴミのポイ捨てが無くゴミ出しのルールが守られるまち、道路に物がはみ出したりしていないまち
- ・ **利便性**：学校・病院・行政施設が身近に利用できるまち
- ・ **コミュニティ**：フェイス to フェイスでコミュニケーションができるまち（治安も良い）
- ・ **商店街**：活気のある商店街、多世代が利用できる商店街、オシャレなカフェ（空き店舗活用）品揃えが豊富な店舗構成
- ・ **防災**：安全なまち、安心して住めるまち、地震・水害に強いまち
- ・ **水と緑**：緑や公園が多いまち、水辺に親しめるまち、緑を育てられるまち（アダプト制度）
- ・ **やさしいまち**：地域活動に若い世代や子どもがたくさん参画しているまち、人にも動物にも優しい町、多世代が居住し、年齢構成のバランスの良いまち
- ・ **知名度の高いまち**：有名なところの多いまち、来訪したくなるまち、景観の良いスポットがあるまち、四季を感じることのできるまち、若い人でも来やすいまち

(4) 理想の生活像・ライフスタイル

独身期・多世代

- ・ **多世代が共有できる空間**：多世代が交流する機会がある暮らし、心のバリアがとれる暮らし、高齢者が一休みできる道路・ポケットパークがある環境、広場、縁日のような空間がある暮らし
- ・ **イベント・祭り**：区民活動・イベントが盛んなまち、イベント情報をみんなで共有
- ・ **担い手**：いろいろな才能のある人が活躍し、行動したくなるような暮らし

子育て期

- ・ 放課後子どもたちの遊び場となる身近な公園や居場所がある暮らし
- ・ 大きな公園（無料）で楽しめる暮らし
- ・ 子どもがいる風景（にぎやか、川で遊んでいるなど）のある暮らし
- ・ おせっかいなおじさん、おばさんが身近にいる暮らし（コミュニティが地域の子どもを認識）

熟年期

- ・ **地域交流**：地域に外出の機会や場がある暮らし、気軽に挨拶できるコミュニティがある暮らし、生涯学習を通じて仲間が増える暮らし
- ・ **外出環境**：バリアフリーな空間、車椅子で移動しやすい空間

2.中央地域

(1) 地域の魅力と課題

魅力

【松島】細かい道路は変化があって楽しい	【一之江境川親水公園】 モニュメント群やみどり、 ジャブジャブ池での水遊び
【歴史資源】 防災教育資源にもなる本一色の水塚 (江戸時代後期)	【小松川境川親水公園】 モニュメント群や寺社集積、 水遊び
【景観資源】 中央森林公園(桜の名所、桜並木)	【中川】 左岸のコンクリートが芝張りとな ったことや、土手での散歩が よい
【景観資源】香取神社	【新中川】土手の雰囲気
【区役所周辺】 ・文化施設が充実 ・総合文化センターのまわりはみどりが 多く、住環境が良い、イベントが楽しい	【京葉交差点】 立体化が進んでいる
【景観資源】大杉天祖神社の大きな狛犬	【景観資源】大杉橋(斜張橋)
【同潤会通り】 身近な買い物の場となっているほか、同潤会アパートの名残の歴史性がある	
【景観資源】船堀橋	
【住工共存】職住近接の土地利用や工場の集積	
【船堀街道】緑が多い歩道	
【景観資源】小松菜、枝豆の農地	
土地区画整理事業で整備されていて広々とした環境(一之江駅西口)	
【景観資源】水門の風景(今井水門)	
【景観資源】 ・寺社集積 ・松本天祖神社、本一色天祖神社、大杉天祖神社、一之江天祖神社、 西小松川天祖神社、水神様(東小松川渡し場の水神講)、白髭神社など	
蓮田のある学校(松江第一中学校)	
【地区全体の魅力】 ・伝統的な工芸・産業(しめなわ、つりしのぶ、風鈴、金魚) ・高い建物が少なく、空が広い ・買い物が便利 ・幹線道路に近い割には静かなまち ・子どもが多く、小、中、高と学校が近くに集まっている ・地域の大人と子供のつながりが強い(季節ごとのイベントで関われるから) ・子育てしやすい(医療、福祉面) ・放課後や土日に一般開放している小学校 ・防災拠点となる規模の大きな公園	





課題

【本一色】夜間、かなり暗い道が多い

【松本】店舗が少ない

【上一色・松本・大杉】
拠点的な医療機関がない

【松島】

・木造住宅が密集している
・液状化が心配【興宮】
・木造住宅密集地域
・鹿骨区民館へのアクセス手段ない
(篠崎文化センターも同様)【八蔵橋～菅原橋間】
道路拡幅が進んでいない【平和橋通りほか】信号処理、停車
規制の甘さも渋滞の要因【八蔵橋交差点】
交差点改良工事が進んでいない

中央図書館は使いづらい

【区役所移転後の跡地利用のあり方】

- ・跡地の利用方針の検討
- ・商業、文化、教育施設での利用がよい
- ・文化施設、防災公園（高台化）がよい
- ・商業、住宅、コミュニティ、福祉施設での利用
- ・体育館、複合施設、大学の誘致

道路、公園などのインフラ整備の不足（松島・東小松川が不足）

京葉病院へのアクセス道路が狭い（都市計画道路の整備が未完了）

【京葉交差点】
交通渋滞（災害時に輸送路として機能しない可能性がある）

高速中央環状線の騒音が夏場に大きくなる

荒川は3橋梁しかなく、渡河する場合、交通が集中する

【中川】

- ・小松川橋の歩道が狭い(1.5m)（すれ違いが危ないため、人道橋がほしい）
- ・小松川橋の歩道へ上がる階段はあるがスロープがない
- ・中川左岸には健康の道がない（健康の道で水辺の回廊を形成してほしい）
- ・中川土手へのアクセスは道路を横断しなくてはならない
- ・中川左岸から小松川地区へ渡れない（避難路として利用できない）
- ・中川左岸水辺テラスにごみの不法投棄が多い

【一之江駅周辺】・商業集積が低く、バス乗り場が不便 ・木造住宅が密集（駅北側）

【地区全体の課題】

- ・駅には遠くて不便
- ・荒川沿いはバスの不便地域（幹線道路が整備されていないためバス路線がない）
- ・バス事業者間の連携が不十分
- ・自転車の通行空間が確保されていない（ネットワーク化していない）
- ・千本桜のような名所がない
- ・十代後半の若者の集まれる場（居場所）が少ない
- ・歩道橋の歩行空間が狭い（特に環七通り）
- ・電柱が歩行者、自転車の通行の障害になっている
- ・バリアフリー、ユニバーサルデザインが不十分
- ・地震のたびに水害の被害を意識してしまう
- ・避難場所がどこかわからない（地震・水害）
- ・工場のある地域へはトラックなどの出入りが激しく心配（特に高齢者）

- ・新小岩公園への避難を考慮する必要がある
- ・地区計画の策定地区が少ない
- ・「土地区画整理事業を施行すべき区域」が昭和42年から進んでいない
- ・都市計画道路の整備が進まない
- ・渋滞案内表示が少ない
- ・バス通りが一車線の区間では、バスの停車が渋滞を引き起こす
- ・観光視点の交通機関がない
- ・路地から幹線道路につながっている道路は危険（歩行者・自転車の飛び出し）
- ・大通りは緑が少ない
- ・親水公園の木が多すぎる
- ・区民農園が少ない
- ・老朽化した建物、空き店舗、空き工場が分布（地震時の危険要因）
- ・工場の集積地の存在（地震時に火災の可能性）
- ・まちなかにトイレなどの休憩施設が少ない
- ・興宮地区から船堀へのバスの本数が少ない

2.中央地域

(2) 将来像と基本目標

将来像

地域活力にあふれ、 うるおいのある多世代の多様な人々が 交流するまち

基本目標

- 新たな文化施設に彩られた多文化なまちの形成
- 多世代の人々の交流を促進するまちの形成
- 災害に強く、安全・安心で住みやすいまちの形成
- 水とみどりに囲まれた、安らぎと潤いのあるまちの形成
- 交通網の充実により、更に伸びゆくまちの形成
- 魅力ある商工業と住宅が調和した、にぎわいのある働きやすい職住近接のまちの形成



(3) 理想のまち

- ・江戸川区らしいまち：川を活かしたまち、「江戸川区？何もないよね」と言われないまち
- ・水と緑：緑の多いまち、エコロジーなまち
- ・景観：文化・色合い・個性のある景観の良いまち、無電柱化による道路デザインよいまち
- ・住環境：ゴミのないまち、道路・歩道が広いまち、広い公園があるまち、
陽あたりや風通しがよいまち、若いひとり親世帯と高齢者世帯のシェアハウスがあるまち
- ・都市機能：公共施設、スーパー・病院などがコンパクトにまとまったまち、
徒歩や自転車で買い物や通院ができるまち、おいしいお店や個性的な店のあるまち
- ・交通：小松川地区と松島・東小松地区とを結ぶ徒歩によるアクセスルートの確保（健康の道）
駅へのアクセスがよいまち、都心へのアクセスがよいまち
- ・防災：洪水時に安心して避難できるまち（天端から橋へのアクセスができるまち）
- ・賑わい：商店街がいきいきしたまち、学生のにぎわうまち（大学、商業施設の誘致）
若者が住みたくなる明るく活力のあるまち
- ・経済：企業を誘致して豊かな暮らしになるまち
- ・暮らし：「衣」「食」が満ち足りているまち、高齢者の負担が少ないまち
- ・安心・安全：歩行者が安全に歩けるまち、犯罪者がいない平和なまち、
自転車通行帯が整備されたまち、子どもが外で安全に遊べるまち、
- ・コミュニティ：子どもの笑い声が聞こえるまち、近所付き合いの盛んなまち、人が育つまち、
地域差の少ないまち（特に中川左岸）

(4) 理想の生活像・ライフスタイル

独身期・多世代

- ・居場所：気軽に誰かに会える暮らし、勉強のできるオシャレな場所やスポーツができる場所、
NPO活動に参加しやすい環境、若者も集える暮らし、玄関を出ればそこに友人が
いるような暮らし、住民が集まる公園・広場・集会所など居場所がある暮らし
- ・賑わい・利便性：病院、大規模商業施設が身近にある暮らし、レジャーを楽しめる暮らし
自動車の駐車や自転車の駐輪がしやすい暮らし
- ・安全・安心：空き家・空き部屋がなく、安全な環境で道路が整備されているまち、
災害時に利用できるオープンスペースが充実したまち
- ・多世代：一人暮らしの高齢者と子供たちが同じ時間を過ごすことができる環境、
地域での子育て支援があるまち
- ・住環境：陽当たり・風通し・景観が良い環境
- ・情報：IT・AI（人工知能）と融合した生活環境、防災情報や施設情報がITメディアで提供、
マンション住民と戸建て住民との情報交換が活発

子育て期

- ・成育環境：子育てのライフステージに応じたまちの魅力、水族園・動物園を楽しめる暮らし
子どもが犯罪に巻き込まれないまち、子どもがのびのびと生活できる暮らし
- ・子育て支援：共働き世帯の子どもの居場所（なごみの家）、子どもたちを見守ってくれる環境、
子供の急病に対応できる医療機関が充実している暮らし、子育てで相談できる環境、
一時預かりや保育施設が充実
- ・家族：家族全員で過ごせる暮らし、みんなで食事をする暮らし、休日に子供と遊べる暮らし

熟年期

- ・居場所：気軽に外出できる暮らし、足の不自由な人でもサポート環境が整っている暮らし、
一人暮らしの高齢者でもコミュニティの場に集うことができる暮らし
- ・利便性：高齢者もITが使いやすい環境、歩いて行ける範囲で、買物などができる暮らし、
医療機関が近くあるほか、必要なサービスが近所で受けることができる暮らし
- ・安心・のんびり：自分の趣味や興味を深めることができる暮らし、多世代とふれあえる場、
ひと声かけ合えるような地域での暮らし、住み慣れた我が家で暮らし続けたい、
仲間をつくることのできる暮らし、高齢者を見守るコミュニティ

3. 葛西地域（北部）

（1）地域の魅力と課題

魅力

【妙見島】 ミステリアスでおもしろい

【景観資源】 船堀スポーツ公園と寺社のある風景

【東葛西一～三丁目】 昔の道路形態、寺社の集積、歴史景観

【歴史資源】 熊野神社のおくまんだし句碑（松尾芭蕉）

【タワーホール船堀】 シンボリックな景観

【行船公園】 個性的な公園

【一之江境川親水公園、古川親水公園】 子どもが水遊びできる

【新川】

- ・ 歴史
- ・ 新川さくら館
- ・ 水門の風景
- ・ 防災資源（かつて水害を食い止めた）
- ・ 川沿いの歩行者空間
- ・ 親水性
- ・ うるおいを感じる場所
- ・ 桜並木
- ・ ハゼ釣り

【地区全体の魅力】

- ・ 「水の街」のイメージ
- ・ 水辺空間である新川、荒川・中川への近接性
- ・ 新川～旧江戸川～葛西臨海公園～荒川は、水辺の回廊（ウォーキング、サイクリング）



【地区全体の課題】

- ・ 家族で食事できる店舗、個性的な店舗が少ない（洋服など買回り品は区外で購入）
- ・ 人と人とのつながりが難しい（特に現役世代）
- ・ 街灯が暗い場所がある
- ・ 保育園問題（待機児童）
- ・ コミュニティ会館などの公共施設の使い方がわからない
- ・ 地域のお祭りが少ない（どこでやっているかわからない）
- ・ 多世代が交流できたり、居場所を共有できたりする場が少ない
- ・ 新しいことをやるにも規制が多い

課題

【船堀駅周辺】

- ・違法駐輪（マンションなどに駐輪）
- ・バスの乗り換えがわかりにくい
- ・歩道が狭い
- ・買物などで一時的に駐輪するスペースが不足、車の停車ができない

【東葛西一～三丁目、北葛西】住宅密集で道路が狭い

【船堀街道、環七通り】渋滞が顕著

【環七通り】街の分断要素となっている

【葛西橋】歩道が狭く、すれ違いに難がある

【新川】川沿いにトイレなどの休憩施設が少ない、東水門・西水門が景観資源として未活用

【歴史資源】歴史的な建物（長屋門など）の喪失

【新川沿い】地盤が特に低い場所の存在

都市計画道路の未整備区間（補助第289号線は事業中）

- ・南北の公共交通が不便（渋滞により定時性が確保されていない、本数が少ない、区役所・総合文化センター・中央図書館に行きにくい）
- ・バスの系統がわかりにくい
- ・東京湾岸部に直接アクセスする鉄道がない（都心廻りしかない）
- ・歩道に高低差や凸凹があり、歩きにくい
- ・地域資源が知られていない、活用されていない（金魚まつりの観光資源化など）
- ・公園の老朽化
- ・カマドベンチなどの防災設備が設置されているが使い方が分からない

- ・ブロック塀の倒壊リスク
- ・災害時の区外との連絡が不安（橋梁の安全性）
- ・安全な避難ルートを確認すべき（無電柱化、沿道の不燃化など）
- ・荒川、旧江戸川を渡る橋がボトルネック（渋滞）で、災害時には交通がストップするおそれ
- ・電柱が通行の障害になっている
- ・小学校などの防災拠点の安全性の確保（延焼火災に対して安全かどうか）



3. 葛西地域（北部）

（2）将来像と基本目標

将来像

歴史ある新川の水とみどりに彩られ、
多様な人がつながり、ときめき、
未来を支えるにぎわいと活力のあるまち

基本目標

- 歴史ある水の流れとみどりが彩りを添えるまちの形成
- わくわくする暮らしと個性が光るまちの形成
- 気のおけない、多様な人と人がつながるまちの形成
- 未来を支える活気とにぎわいが選ばれるまちの形成



(3) 理想のまち

- ・ **みどり**：緑が連続するまちなみ、緑のあるまち、水辺と緑
- ・ **歴史**：残された歴史的建物などの資源が活かされるまち
- ・ **世代間交流・地域交流**：人と人とのつながりがある（世代間）あたたかいまち、子どもと老人と一緒に居られるスペースが多くあるまち、
- ・ **子育て**：子どもを産んでも安心して働き続けられるまち
- ・ **福祉**：公的施設が使いやすいまち
- ・ **ヒューマンスケール**：歩行空間が整備されたまち、水辺に快適にアクセスできるまち
- ・ **誇れるまち**：水辺のお洒落なカフェがあるまち、区民の誇れる人気スポットがあるまち、わかりやすい特徴のあるまち（区外・都外から見て）
- ・ **楽しみ**：休日を1日のんびりと過ごせるまち、買物が便利で楽しめるまち

- ・ **利便性**：買い物が便利なまち、南北交通の便が良いまち、移動しやすいまち
- ・ **安全・安心**：安心して暮らせるまち（防災・防犯）

(4) 理想の生活像・ライフスタイル

独身期・多世代

- ・ **居場所・地域とのつながり**：知り合いを増やしたい、マンションと町会との交流がある暮らし
- ・ **賑わい・利便性・潤い**：通勤ラッシュのない環境、公共のWi-Fi環境のある暮らし
- ・ **多世代**：世代間で交流したい、みんなで集まって交流したい
- ・ **イベント・祭り**：お祭りがたくさんある暮らし（区のホームページでお祭りを知りたい）

子育て期

- ・ **公園**：休日は公園に弁当を持って過ごせる暮らし、休日は子供と一緒に遊べる暮らし
- ・ **世代間交流・子どもの成育環境**：小さい頃から様々な年代の人と関われる環境、同じ年代の子供を持つお父さんお母さんとのつながりたい
- ・ **子育て支援**：保育園・学校が近くにある暮らし、安心して働ける環境、子供を預ける施設（駅近）がある暮らし、子どもが色々な体験ができる環境

熟年期

- ・ **賑わい・利便性**：にぎやかな商店街がある暮らし
- ・ **イベント・祭り**：地域イベントがたくさんあると良い、イベントに気軽に参加したい
- ・ **安心・のんびり**：安全・安心・静かな暮らし、お散歩コースが近くにある暮らし、畑やお庭がある暮らし、高齢者1人暮らしでも安心できる暮らし、健康的な生活（散歩・ウォーキング）、安心して外出できる環境

4. 葛西地域（南部）

（１）地域の魅力と課題

魅力

【葛西駅・西葛西駅周辺】

商業や医療など生活関連施設が充実

【景観資源】 葛西駅南側のケヤキ並木

【旧江戸川～葛西臨海公園～荒川～新川】

水辺の回廊（ウォーキング、サイクリング）

【歴史資源】 かつての海岸の名残（海岸線の碑）

【なぎさニュータウン】 防災コミュニティが充実

【総合レクリエーション公園】

フラワーガーデン、富士公園など個性的な公園

【葛西臨海公園】

- ・発信力のある施設
- ・個性的な公園
- ・自然と触れ合うことができる空間
- ・海水浴体験
- ・生物多様性

【荒川の土手】

- ・広々とした眺め
- ・サイクリングコース
- ・遊び場所

【旧江戸川】 風景が良い

【地区全体の魅力】

- ・基盤整備により整然としたまち
- ・都心へのアクセスが良好
- ・道路が充実（基盤整備地区）
- ・緑道、健康の道（自転車や歩行者が快適に通行できる）
- ・「水の街」のイメージ：左近川親水緑道などの水辺の骨格、荒川・中川への近接性、生きもの
- ・緑が多く、公園も多い（子どもが遊ぶ場所が充実）
- ・緑道や街路樹の景観、緑陰空間
- ・施設の充実：図書館、スポーツ施設、コミュニティ会館
- ・外国人が多く、交流が面白い



【地区全体の課題】

- ・幹線道路沿道の建物高さ・形態が統一性・連続性に欠ける
- ・集合住宅に居住する高齢者（住み替えニーズや管理問題）
- ・高齢者（弱者）とのコミュニケーションが不足（見守りが課題）
- ・子どもの数が減少傾向（公園の活気が低迷）
- ・旧住民と新住民のコミュニケーション不足、町内会と集合住宅のコミュニケーション不足
- ・外国人とのコミュニケーション不足
- ・高齢化の進展 ・若者の居場所が少ない
- ・文化やアート、クリエイティブな人材が集まる場の創出



課題

【葛西駅・西葛西駅周辺】

- ・違法駐輪（マンションなどに駐輪）
- ・歩道が狭い
- ・バスの乗り換えがわかりにくい
- ・駅周辺に客引きが多い、治安が悪い
- ・買物などで一時的に駐輪するスペースが不足
- ・車の停車ができない

【葛西臨海公園】観光・商業拠点を形成すべき

【中葛西八丁目、東葛西七・八丁目】住宅密集で道路が狭い

【清新町】集合住宅のコミュニティの活性化、液化化の危険性

【荒川沿い高速中央環状線の高架下】

太鼓などの練習で使われているがルールがあると良い。地域交流の場として有効活用したい。

【葛西駅周辺】陸橋が活用されていない

【環七通り】騒音の解消

【JR 京葉線】風で止まりやすい

【葛西橋】歩道が狭く、すれ違いに難がある

【葛西警察署周辺】水害時、地盤が特に低い場所が危険

【左近川親水緑道沿い】冠水の危険性

- ・歩道上に自転車がが多く通行しにくい
- ・乗り物のバリアフリー化が進んでいない
- ・幹線道路沿道にゴミが多い
- ・バスの路線が効率的でない（船堀方面のバス路線は迂回する路線となっている）
- ・小中学校の学力向上
- ・幹線道路沿道にゴミが多い
- ・車道と自転車道：危険を感じる場所が多い
- ・自転車のブルーレーンにトラックなどが駐車しており危険を感じる
- ・自転車道がネットワークされていない、走りにくい箇所あり

- ・自転車と歩行者が輻輳、自転車のマナーが悪い
- ・旧来からの市街地は緑が少なく、まちの特徴も欠如
- ・河川敷などの水辺空間をにぎわい空間として活用すべき（イベント企画など）
- ・環境都市、サステイナブルなまちを目指すべき
- ・上下水道の耐震強度が不安
- ・防災拠点の機能がわかりにくい
- ・大火災時に多数の住民を受け入れることができる避難所が足りないように感じる
- ・水害ポテンシャルが高い一方（荒川、旧江戸川）、避難先・避難の仕方がわからない

4. 葛西地域（南部）

（2）将来像と基本目標

将来像

海をのぞみ、
水とみどりに人々が集い、
多様な交流が広まる、
心地よいオシャシなまち

基本目標

- 海とふれあい楽しめる、アクティビティ豊富なにぎわいのあるまちの形成
- どこにいても水とみどりを身近に感じとれるまちの形成
- 多文化な人々が集うにぎわいの中に、やさしさのあるまちの形成
- 便利で快適な環境の中で、若さと活気にあふれるまちの形成
- 新しい暮らしの中で個性や文化を育てるまちの形成
- 中高層住宅の調和のとれた安全・安心なまちの形成



(3) 理想のまち

- ・ **みどり**：緑の多いまち、やすらぎがあるまち（公園、緑、景観）、心地よい環境 CITY（サステイナブルシティ）
- ・ **歴史**：歴史景観のあるまち
- ・ **世代間交流・地域交流**：外国人と気持ちよく暮らせるコミュニティ、三世代が一緒に暮らしやすいまち（医療・子育て・福祉）、コミュニケーション育むまち、助け合えるまち、地域のサービスを地域の人たちが作るまち
- ・ **子育て**：子育て日本一のまち
- ・ **福祉**：医療・福祉が身近にあるまち、医療・介護が充実したまち、生涯を自宅で暮らせるまち、熟年者の「学ぶ場」「社会貢献」など生きがいを持てるまち
- ・ **誇れるまち**：Creative City（アート・芸術・文化・江戸文化）
- ・ **楽しみ**：葛西臨海公園がにぎわいをもつ商業・観光地になっている
- ・ **利便性**：身近で何でもそろうまち（店舗・飲食など）
- ・ **安全・安心**：歩行者・自転車が安全なまち、静かな大人のまち

(4) 理想の生活像・ライフスタイル

独身期・多世代

- ・ **居場所・地域とのつながり**：居心地の良い図書館で調べ物や勉強をして過ごしたい、サークル活動に参加したい、若者同士で交流できる暮らし
- ・ **賑わい・利便性・潤い**：仕事後のアフターファイブが楽しめる暮らし、まちなみがきれいな場所に住みたい
- ・ **多世代**：子どもと老人の交流できる環境がほしい
- ・ **仕事**：収入が安定した暮らし

子育て期

- ・ **公園**：公園が身近にあるまち、休日に子どもと一緒に遊べる公園があるまち
- ・ **世代間交流・子どもの育成環境**：近所の熟年者が子育てを手伝ってくれる環境、子どもを見守る環境、保育所・小中学校が身近な環境
- ・ **子育て支援**：子供の教育環境・医療施設の充実、地域で子供を見守る環境

熟年期

- ・ **賑わい・利便性**：買物、公共交通の利便性が良い、スポーツ施設や図書館などに歩いていけるまち、教育・娯楽などが充実した豊かな暮らし
- ・ **コミュニティ**：地域の人たちが集まり、交流・社会参加（仕事含む）の機会があるまち、地域のソーシャルビジネスを創出できる環境
- ・ **安心・のんびり**：安心して外出できるまち、散歩・ウォーキングができるまち、安心して暮らせる環境（治安・防災）

5.小岩地域

(1) 地域の魅力と課題

魅力

【JR小岩駅周辺】

- ・商業集積を背景とした生活利便性、飲食店の集積を背景としたにぎわい、雑多であるが親しみのあるまち
- ・都心へのアクセスがよい
- ・駅周辺の市街地再開発事業
- ・新たな地域の顔づくり

【北小岩】

- ・細い路地は下町的な雰囲気が良い
- ・緑が多く、親水緑道もあり、爽やか

【江戸川】江戸川花火大会、生き物の生息、堤防からの眺め、広々とした空間、各種スポーツや散歩ができる

【東小岩】

- ・農地の集積
- ・影向の松

【小岩の森公園】夏は涼しく、安らげる

【補助第264号線】無電柱化が実現した道路がある

【親水緑道】安全・安心な歩行者空間

【小岩アーバンプラザ、図書館など】文化施設が充実

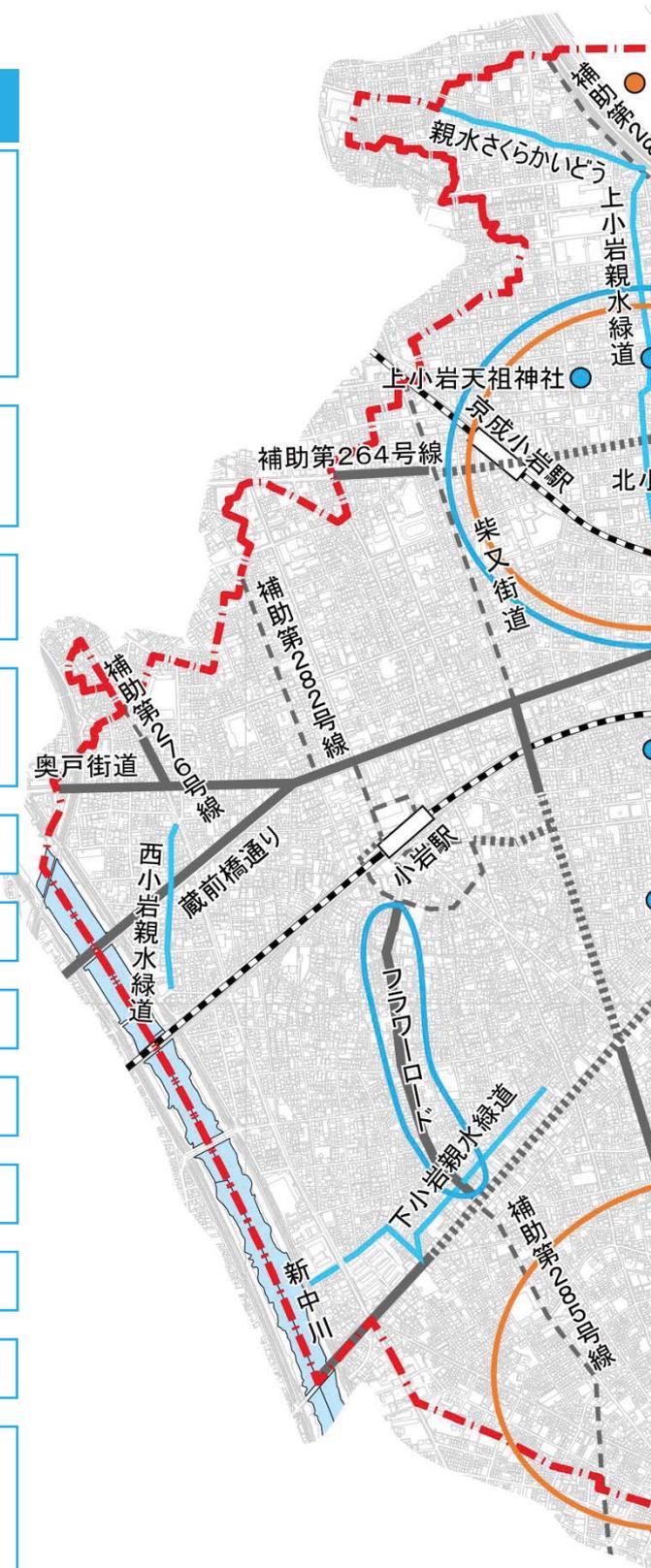
【江戸川女子中学校・高等学校】教育施設の立地がにぎわいを創出

【新中川】河川敷：散歩などに利用できる

【フラワーロードの花壇、花卉農業】花にちなんだ資源

【地区全体の魅力】

- ・下水道などの都市基盤が整備済（今後も定住したい）
- ・歴史文化資源が豊富（善養寺、小岩神社、上小岩天祖神社、慈恩寺道標、かつての河原道、善養寺影向の松、北小岩遺跡、上小岩遺跡）
- ・地域のお祭りがある
- ・人口移動が少ない（定住者が多いと思われる）
- ・色々な国や地域の人たちが共存して暮らしているところ（多様性）
- ・近所付き合いが活発（地域力）
- ・河川整備が行われ、きれいな橋が完成





課題

【JR小岩駅周辺】

- ・北口はまちなみが雑然とし、駅前広場も不十分
- ・市街地再開発事業の加速化が必要
- ・汚い（ゴミの散乱、整備された花壇が汚されている）、緑が少ない
- ・南口の治安が悪い（地蔵通り）
- ・駐輪場が不足

【南小岩】

- ・道路が狭く、電柱が通行に支障、行き止まり道路が多い
- ・行き止まりや狭い道が多く、災害時に危険（南小岩）
- ・電柱が通行の障害になっている
- ・木造住宅が密集しているため、火事が起きた時が不安

【京成小岩駅】

- ・柴又街道踏切が渋滞の原因
- ・京成小岩駅と駅前のバス停が遠い（小55）

【岩槻街道】歩行者・自転車が危険

【フラワーロード】歩行者と自転車が錯綜し危険

【江戸川土手】

- ・景観資源として活かされていない（桜並木があると良い）
- ・スーパー堤防の整備促進（加速化）が必要

【江戸川駅周辺】過去に消防車が入れないことがあった

【北小岩】

- ・道路が狭く火災が延焼する危険性や日常でも交通事故の危険性
- ・過去の水害では上流から水があふれてきた

【新中川】堤防が整備されたが、まだ弱いように見える

【親水緑道】夜の親水緑道は暗くて怖い

【地区全体の課題】

- ・区内の他地域からの訪問が少ない（かつてはたくさんあってにぎわっていた）
- ・ショッピングモールなどの大型商業施設がない（買物客が流出）
- ・都市計画道路の整備が遅い
- ・道路標示・行先案内の表示が少なく感じる
- ・南北方向の公共交通が弱い
- ・葛西地域の施設に行きづらい
- ・バス路線の本数が少ない
- ・バスが満員で乗れないことがある
- ・船堀へのアクセスが良くない
- ・地域内に公園などの広い空間がない
- ・ポケットパークなどの身近な公園や広場が少ない
- ・公共の緑地空間に、住民が花を植えることができない
- ・住宅の各戸の外観色が統一されていない
- ・道路の冠水により避難路として使えないおそれ
- ・橋がなく、災害時の避難が不安（金町まで橋がないため、災害時に川を渡れない）
- ・市川橋だけでは、避難経路に不安がある（区内他地域から避難者が押し寄せてくる）
- ・市川市国府台方面への避難路は非現実的（地域内に高台の避難所が必要）
- ・学校に食糧などが備蓄されていることを知らない
- ・公園が若者のたむろする場所と化している
- ・住民目線の自治の仕組みが必要
- ・住民の自治意識の向上が必要

5.小岩地域

(2) 将来像と基本目標

将来像

魅力ある商店街、 三世代の暮らしやすさ、 文教が調和したまち

基本目標

- 多世代に渡って安全・安心で暮らしやすいまちの形成
- 親しみやすい地域性が生み出す快適で住みやすいまちの形成
- 学びの活気あふれる文教のまちの形成
- 個性的な商店が人気を集めるにぎわいのあるまちの形成
- 花とみどりが繋ぐ、ゆとりと潤いのあるまちの形成
- 歴史を継承するまちの形成



(3) 理想のまち

- ・ **レジャー・利便性**：買物に便利なまち、住みやすいまち、
買物やレジャーが身近に済ませられるまち
楽しい施設のあるまち（淡水水族館など）
- ・ **コミュニティ**：思いやりのあるまち、町内会が団結している下町らしいまち、
まちが盛り上がる祭りがあるまち、
手作り市やクラフト市などができる広場があるまち
- ・ **緑**：緑が多いまち、広い公園が多くあるまち、江戸川堤（土手）に桜並木があるまち
- ・ **交通**：歩道橋のないまち（アンダーパスやオーバーパスの整備）、
人・車・自転車が安心して移動できるまち、駅周辺が安全安心なまち、
子供が道路で遊べるような安全なまち
- ・ **まちの個性**：相撲をテーマした個性のあるまち
- ・ **歴史資源**：街道の歴史性を活かしたまち

(4) 理想の生活像・ライフスタイル

独身期・多世代

- ・ **居場所**：趣味、体験施設、運動、レジャーなどが充実した余暇を過ごしたい
- ・ **健康**：食生活のアドバイスをもらえる健康的な暮らし
- ・ **公園・広場**：大人が地域人として子ども達を見守ることができ、子ども達が安心して遊べる環境
身近にスポーツや文化活動を楽しむことができる暮らし、
多世代がお祭りなどで楽しむことができる環境
- ・ **利便性・潤い**：食事、遊び、買物、レクリエーションなどが身近にある暮らし、
移動しやすい環境（南北に鉄道があれば移動しやすくなる）、
多世代が交流できる拠点（小岩駅周辺の市街地再開発事業など）
- ・ **安心・安全**：三世代が共に暮らすことができる居住環境、災害に強い安全な暮らし、
助け合いのあるコミュニティでの暮らし

子育て期

- ・ **公園**：子供が安心して遊べる環境（子どもを自由に遊ばせたい）
- ・ **子育て**：子育ての悩みにすぐ相談できる暮らし、子育て中でも気軽に外出できる環境
- ・ **地域**：地域の祭りや広場などみんなが集まることのできる環境
地域の多様な人が子育てに関われる環境

熟年期

- ・ **公園**：公園、ポケットパークなど身近な場所で地域の人と触れ合うことができる、
気軽に出かけられる場や機会がある、熟年者が外出しやすい環境、
仲間と共通の目的にむかって、楽しく暮らしたい
- ・ **道路**：散歩の途中で気軽に休める環境
- ・ **地域**：病気の時に身内や子供がかけつけることのできるような環境での暮らし
近隣との触れ合いがもてる環境

6. 鹿骨地域

(1) 地域の魅力と課題

魅力

【親水緑道】 緑と水辺があり、季節の変化を楽しめる

【新中川】

ボランティアが育てる花壇の彩り、朝の散歩が楽しい空間

【江戸川】 広々とした空間

【篠崎駅周辺】

- ・ 篠崎図書館の立地がよい
- ・ 篠崎駅周辺は、低層で落ち着いたまちなみの住宅地
- ・ 土地区画整理事業により、まちが新しい建物となりきれいになった
- ・ 土地区画整理事業の進捗により防災性が向上
- ・ 閑静で落ち着いた住宅地

【地区全体の魅力】

- ・ 鉄道の利便性が良い
- ・ 電柱が減ってきている
- ・ 公園が多数整備され、花・緑が多い（篠崎公園・鹿骨スポーツ広場など）
- ・ 寺社が多く、まちに歴史がある（浅間神社、鹿島神社、鹿見塚神社、河原道、勢増山遺跡）
- ・ 寺社が多く、古木・大木が残る
- ・ 地域の祭り（区民まつり、浅間神社のぼり祭り、獅子もみ祭り、花の祭典など）
- ・ 農業資源（花卉栽培、区民農園、しめなわなどの農業文化、JA、東京都農林総合研究センター江戸川分場）
- ・ 緑に由来する生きものの生息環境
- ・ 町会・自治会の活動、地域の行事
- ・ 篠崎地域では、地域活動、祭りなどで人と人とを結びつけるまちづくりができる
- ・ いまだに屋号で呼ぶ地域





課題

【篠崎駅周辺】

- ・商業集積が低い
- ・土地区画整理事業により同じようなまちなみ、建物が多くなり特色がなくなった
- ・土地区画整理事業施行地区以外は道路などの基盤が不十分
- ・篠崎駅前には駐車場、駐輪場が不足
- ・スーパーや飲食店は駅前に集中しているため、駅周辺へのアクセスが課題

都市計画道路の整備が遅れている

千葉方面と連絡する道路が少ない（京葉道路に側道を整備できないか、橋梁を増設できないか）

補助第286号線（都県境橋梁）の整備促進

橋梁には災害時に避難路として使うための歩道が必要

【篠崎公園】

夜間が暗いため、照明などで安心して歩けるようにしてほしい

【谷河内】道幅が狭い

【江戸川】豪雨などで江戸川土手が壊れないか不安

江戸川、新中川が氾濫しないか不安

【地区全体の課題】

- ・専門学校や大学がない
- ・バス通りが狭く、すれ違いができてにくい道路がほとんどである
- ・道が狭く、曲がりくねっている
- ・行き止まりが多い
- ・鹿骨地域から区役所へのアクセスが悪い
- ・定時性が確保された南北方向の公共交通手段がない
- ・電柱で道幅が狭くなっていて、歩道が狭くて危険
- ・車道と自転車道の境があいまい
- ・自転車の専用道が少ない
- ・サイクリング道路は、災害時の避難路としての活用も考慮したネットワークの形成が必要
- ・寺社の古木、大木の維持管理（残していくこと）が課題
- ・豪雨時に地下鉄が水没のおそれ
- ・狭小住宅の改善が課題
- ・空き家の放置（地震時に倒壊の可能性）
- ・住宅の密集地域は電柱も多い
- ・夜は暗いところがあり不安
- ・自転車のマナーが悪い（無灯火）
- ・学校（小、中）が近接しているのはよいが施設が手狭
- ・将来的に高齢者世帯の住宅が空き家になるおそれ
- ・マンションの新しい住人とのコミュニケーションが不足

6.鹿骨地域

(2) 将来像と基本目標

将来像

歴史と伝統を継承し、花とみどり、 水辺と住環境の調和がとれたまち

基本目標

- 花やみどりが輝く彩り豊かなまちの形成
- 三世代が集い、ふれあうまちの形成
- 農地と住宅が調和する空間的ゆとりと潤いのあるまちの形成
- 落ち着いたある調和のとれた都市景観があるまちの形成
- 防災意識の強いまちの形成



(3) 理想のまち

- ・ **交通**：従来の延長でない新しいまちづくり、道づくりを希望（不便はあっても良い）、
区の南北を連絡する地下鉄又はモノレール、
千葉（行徳）方面との連絡性を高めるための橋梁整備
- ・ **景観**：緑が多く、水辺があるまち（親水緑道は残していきたい）、
区民農園や公園などの憩いの場があるまち（子ども、熟年者が共存できる場）、
電柱のないまち
- ・ **安全**：明るい道で安心して家に帰れること、
利便性より安全・安心・静かなまち、
空き家の再利用（スラム化の防止）や防犯対策
- ・ **教育**：専門学校や大学、美術館がある文教的なイメージのまち

(4) 理想の生活像・ライフスタイル

独身期・多世代

- ・ **地域交流・世代間交流**：若いうちから地域との関わりがある暮らし（ボランティア活動など）、
同じ趣味をもった人同士のコミュニティ・居場所、
高齢世代の前 55 才～65 才のコミュニティ・居場所、
多世代が交流できる場・機会（屋内・屋外の両面）
町会活動に参加しやすい
放課後児童と高齢者との交流機会

子育て期

- ・ **住まい**：子育てしやすい（広さも含む）住宅
- ・ **子育て支援**：共働きしながら子育てしやすい暮らし、保育園に入れやすい、
地域などで子育てを支援・応援（指導含む）する機会、
子育てのことで相談できる場や機会、子どもと一緒に過ごせる環境
- ・ **子どもの成育環境**：子ども達が自由に遊ぶことができる公園
- ・ **地域とのつながり**：地域・町会との関わりがある暮らし、親世代で友達ができる機会・場
- ・ **家族のつながり**：親子で買物・食事ができる場、子どもと親と一緒に参加できる行事

熟年期

- ・ **のんびり**：趣味を楽しめる暮らし、静かに落ち着いた暮らし
- ・ **家族とのつながり**：子や孫との同居（多世代住宅）、親類が近くに居るところでの暮らし
- ・ **外出機会**：広々した公園
- ・ **安全・安心**：バリアフリー住宅の暮らし、医療機関や介護施設が身近にある暮らし

7. 東部地域

(1) 地域の魅力と課題

魅力

【瑞江駅周辺】

- ・商業施設が集積し、買い物が便利
- ・土地区画整理事業によりまちなみがきれいになり、広幅員の歩道が充実し、防災性に優れている（住宅も耐震化）

【旧江戸川沿い】

- ・河川敷、ポニーランド、マリーナ、屋形船、開放感のある土手（新中川も同様）、桜堤石碑、清掃工場の桜
- ・自然を感じられる空間

【篠田堀親水緑道】

篠田堀の水の流れ、春の桜

【地区全体の魅力】

- ・文化・スポーツ施設が充実：図書館、スポーツランド（スケートリンクもある）
- ・バスの利便性が良い（一之江駅や東京臨海病院行き）
- ・歩行者や自転車が通行しやすい交通環境
- ・公園や緑が多い
- ・個性的な公園・広場：今井児童交通公園、フレンド公園、竹と親しむ広場
- ・農地が残っている
- ・名主屋敷などの文化や緑がある
- ・川に囲まれており水辺空間が豊か（緑が多く、釣りも楽しめる）
- ・水と緑：公園、親水緑道、農地のあぜ道など小さな水辺
- ・農地：生産緑地、区民農園、家庭菜園、瑞穂の里
- ・舟運、治水の歴史などの歴史資源
- ・篠崎水門、江戸川水閘門などの土木景観資源
- ・歴史文化資源（大雲寺、大雲寺の植木市、豊田神社、立木観音、風鈴本舗、篠崎街道周辺の寺社）
- ・閑静な住宅地が多い
- ・低層の街並み（空が広い）
- ・比較的治安がよい
- ・子どもがたくさんいる
- ・空き家と高齢者が少ない
- ・地域の町内行事が盛ん
- ・気軽に挨拶できる人が多いコミュニティ





課題

【江戸川一・二丁目】

- ・商店街に活気がない
- ・住宅密集地で、消防活動困難区域もあり、火災などが発生すると危険
- ・住宅密集している地域が残っている

【瑞江駅周辺】 駐輪場の使い方がわかりにくい

千葉方面と連絡する橋梁が不足（都市計画道路が未整備）

直進車と右折車の事故多発（柴又街道・京葉道路交差点）

旧江戸川があるが、水辺に近づけない

【篠崎四丁目】 バス路線がない不便地域がある

【地域全体の課題】

- ・公共施設や区民利用施設が少ない地区がある
- ・拠点的な医療機関が不足（大学病院クラス）
- ・若者人口の定着のための施設（大学など）がない
- ・渋滞箇所：京葉道路、今井橋付近、瑞江駅周辺
- ・違法駐車で交差点が危険
- ・押しボタン式信号機の配置を検討する必要がある
- ・道路や歩道が狭い
- ・鉄道の駅間が離れており不便
- ・バスの定時性が確保されていない
- ・バスの便が少なく不便（瑞江駅⇄東京臨海病院、新小岩行き）
- ・水上交通が未活用
- ・自転車走りにくい（安心して走れる道がない）
- ・京葉道路を渡る時、気を付けないと事故に巻き込まれる
- ・広い空地がない（ボール遊びができない）
- ・地震時に高速道路の高架が崩壊しないか不安
- ・避難所の定員がわからない
- ・液状化がどのくらい進むのか不安
- ・地震時に主要道路の機能の保持が重要
- ・地震時に橋が落下しないか不安
- ・地域全体において水害のリスクが高い（堤防決壊のおそれ）
- ・豪雨時に地下鉄の階段に浸水する危険がある
- ・豪雨時は清掃工場前あたりは危ない
- ・排水がうまくできていない箇所がある
- ・街灯が暗い場所がある
- ・3階建の住宅が多く、足が悪くなった熟年者にとって階下に降りるのが大変で外出しにくい

7. 東部地域

(2) 将来像と基本目標

将来像

みんなでつくる

健康で美しい人・きらめく水のまち

～最先端情報インフラモデル地区～

基本目標

- 豊かな水とみどりや農を活かした、にぎわいあるまちの形成
- 運動・食・農・健康をトータルで考えるまちの形成
- 多世代みんなでつくる、文化あふれるまちの形成
- 交通・情報・エネルギー・防災の最先端（IT）モデル地区を目指すまちの形成
- 桜や歴史を活かした景観が美しいまちの形成



(3) 理想のまち

- ・ **住民自治**：エリアマネジメントができるまち、住民が主体的に動けるまち
- ・ **文化**：地域が一体となって祭りを継続し残していくまち、住民が文化を創り上げるまち、住民がイベントに参加しやすいまち
今ある文化財を大切に市民主体で活用・保存
- ・ **世代間交流**：高齢者と子どもが気軽に集える場所がある、三世代で住めるまち、庭のちょっとした所で三世代や四世代で楽しくおしゃべりができるまち、老人ホームと保育園が一緒のところにあるまち
- ・ **安全・安心**：ほっとする安らぎを感じるまち、自然災害に強いまち、犯罪のないまち
- ・ **健康**：病院が充実したまち、健康づくりを地域で行えるまち（みんなの保健室がある）
- ・ **高齢者**：高齢者が住みやすいまち、高齢者の居場所があるまち
- ・ **子ども・子育て**：子どもたちが江戸川を誇れるまち、子どもを地域みんなで育てるまち、子育てしやすいまち、農を含めた食育を推進できるまち
- ・ **環境・景観**：街の色彩のバランスがよいまち、未利用熱源を有効活用しているまち、空き家のないまち
- ・ **農業・自然**：気軽に農業を体験できる空間があるまち、自然を感じるまち
- ・ **まち歩き・観光**：楽しい歩行空間や街路があるまち、サイクリングを楽しめるまち
- ・ **交通**：ミニバスなどきめ細かいバスサービスがあるまち、駅にアクセスしやすいまち、水上交通のあるまち

(4) 理想の生活像・ライフスタイル

独身期・多世代

- ・ **若者の居場所**：婚活できる場所、時間を過ごせる場所、遊べる場所、オシャレな場所、みんなが集まることができる公園、スポーツを楽しめる環境、自然に親しめる場所、気軽に挨拶できる人が多いコミュニティ
- ・ **交通**：バスの利便性が良い、歩行者や自転車が通行しやすい交通環境
- ・ **多世代居住・交流**：三世代同居、世代間交流の機会、高齢者が子ども達の見守りをしている、
- ・ **仕事・活動**：アルバイトやボランティアに参加できる機会
- ・ **安全・安心**：災害時に安全なまち

子育て期

- ・ **成育環境**：近くで安心して遊べる場所、食の安全が確保された暮らし、地域の見守り、地域のスポーツクラブの充実、自然と触れ合うことができる機会、農業体験の機会
- ・ **子育て支援**：子育ての相談ができる、保育園・幼稚園の充実、子どもの一時預かりサービス
- ・ **家族**：親子で遊べる公園のある暮らし

熟年期

- ・ **生活支援**：高齢者向けの宅配サービスを利用できる、地域包括ケアの施設が近くにある、高齢者を定期的に訪問するサービスがある、高齢者の生活交通手段が確保されている、買物場所が近くにある、高齢者のための医療・福祉施設が充実
- ・ **仕事・活動**：定年後のお小遣いが稼げる仕事がある、社会に貢献できる機会がある
- ・ **地域**：地域ぐるみで高齢者を見守るコミュニティ、地域の人が集まれる場所、子育ての支援
- ・ **健康・元気**：転ばないで、歩きやすいまちづくり、外出時に一休みできる環境、年を取っても元気でいられる、健康づくり・散歩を楽しめる暮らし

なごみの家の説明



【なごみの家】

誰もが長く住み慣れた地域で生き生きと暮らせることを目指す地域共生社会構築の拠点



【サンロード商店街】

小岩駅から柴又街道までの道路幅員を9mから18mへ拡幅し、安全で円滑な交通環境と、ゆとりある歩道の整備を実施

【小岩駅南口】

全国初のタクシープールを地下に設けた駅前広場で、今後、交通広場面積を拡張し、ゆとりある施設を整備予定



拡幅道路の確認



- まちあるきルート (右回り・左回り)
- JR小岩駅周辺地区 まちづくり基本計画 2014の区域
- 拡幅路線
- 公共CMサイン

【老朽建物除却（不燃化特区）】

改善が必要な木造密集地域を「不燃化特区」に指定し、老朽建築物の取り壊しに対し助成を行っている



- ・活気ある商店が見られ、これからも残してほしい。
- ・公共CMサインがあると、初めて行く場所でもわかりやすい。
- ・無電柱化によって、景観がすっきりとし、空が気持ちよく感じられる。
- ・防災の面からも老朽化した建築物の除却を早く進める必要がある。
- ・近隣の方々の協力もあって、道路拡幅や公園整備、無電柱化が進んでいる。
- ・小さな公園でも災害時に役立つなど、防災意識向上のための学びになった。

2-3 区民説明会などの結果

(1) 区民説明会

開催日：平成30(2018)年9月1日(土) 場所：タワーホール船堀 参加者数：15人

意見の要旨
・新小岩駅の南口の整備について、葛飾区と連携して進めてほしい。
・中川へのアクセスが不便であり、改善してほしい。
・日常的な歩行・自転車の走行において安全面の確保に課題がある。
・中川や荒川の川沿い周辺は、みどりが多いと思うが、住民が住んでいる市街地の真ん中は少ないと思う。
・都市計画マスタープランは、網羅的に書かれていて素晴らしい反面、「何を重点的に考えているか」がはっきり読み取れない面もあり、工夫してほしい。
・区内には、海、川もあって、公園も多く、自然に恵まれていることを上手くアピールすると良い。
・区として独自色を出すことも大切だが、他区の良いところは、参考にすると良い。
・中央地域は、区役所周辺から一之江駅周辺までをカバーしているが、一つの地域として広すぎるのではないか。
・区内では水害の危険性が高く、どこに逃げれば良いのか不安である。
・市川橋は架橋から50年以上経っており、水害時に何千何万という人が押し寄せるといけないか不安である。
・江戸川は橋が少ないため、補助第286号線を早く完成させてほしい。

(2) 地域別巡回説明会

改定計画の内容を広く区民の方々に知っていただくとともに、区民意見を把握するため、区内各地域のコミュニティ会館などでパネルを使用した巡回説明会を実施しました。

会場	日程(平成30年9月)	時間
中平井コミュニティ会館	3日(月)～7日(金)	午前9時～午後5時 (3日・10日は午前11時から)
小岩アーバンプラザ		
グリーンパレス本館1階ロビー	6日(木)～14日(金)	
長島桑川コミュニティ会館	10日(月)～14日(金)	
篠崎文化プラザ		



パネルを使いながら改定計画を説明

(3) 中間意見募集

意見募集期間 : 平成30(2018)年9月3日(月)～14日(金)

意見提出の方法 : 区ホームページからの入力、持参、郵送、FAX

意見の通数 : 6通

No	意見の要旨
1	<ul style="list-style-type: none">・ 駅前の再開発やまちづくりの計画について、時代の変化や人の流れを計画に反映する必要がある。・ 改定にあたっては、有識者だけではなく、地域をよく知る住民を参加させるべき。・ 補助第 283 号線の整備は 50 年以上前に計画されたもので、当時とは住環境も変化していることや環境面への配慮から計画を見直すべき。・ 植林運動を実施するなど、緑の充実を図ることが必要。
2	<ul style="list-style-type: none">・ 将来都市像が一般的なものである。他区との違いや特色があるのか。・ “都市活力の低下”が懸念されると記載しながら、別頁に“多彩な個性や活力”があるとあり、矛盾した内容になっていないか。
3	<ul style="list-style-type: none">・ 再開発や区画整理、道路拡幅整備の際は、住民の事情に十分配慮しながら計画を進めてほしい。
4	<ul style="list-style-type: none">・ 松島、西小松川地区では、中学校 1 校、小学校 2 校の現状を維持してほしい。・ 地域と学校の整合性を保つ。・ 学校選択制の廃止を希望する。・ 松島 1・2 丁目地区での土地区画整理事業を促進してほしい。
5	<ul style="list-style-type: none">・ 補助第 286 号線の進捗状況を知りたく、問い合わせ先を知りたい。・ J R 小岩駅の南北市街地の回遊性を強化する道路整備について、具体的に計画案をあげてほしい。・ スーパー堤防整備の関連地域の都市計画素案を提示してほしい。特に木密地域解消を含む道路計画等又は、その窓口を教えてください。
6	<ul style="list-style-type: none">・ 春江橋が狭いのもっと広くしてほしい。それに関係して道路も広くし、歩道を整備してほしい。

(4) パブリックコメント

意見募集期間：平成31(2019)年1月10日(木)～23日(水)

意見提出の方法：区ホームページからの入力、持参、郵送、FAX

意見の通数：5通

No	意見の要旨
1	<ul style="list-style-type: none">・計画の冊子を区内の全家庭に配布してほしい。・水辺を活かした観光都市として、長期構想を計画に盛り込んでほしい。・区役所移転後の跡地活用について、区民参加による広範囲の検討をしてほしい。
2	<ul style="list-style-type: none">・小松川4丁目の住居表示を早急に実施してほしい。・荒川右岸沿いの補助122号線の拡幅を早急に実施してほしい。
3	<ul style="list-style-type: none">・第3章全体構想「環境」で記載している環境に配慮した取り組みの導入に賛同する。・公共施設の整備・改修の際の水素エネルギーの活用や、防災拠点となる公共施設については、停電対応型発電機の導入を記載してほしい。
4	<ul style="list-style-type: none">・篠崎公園近くのスーパー堤防整備は、浅間神社などの歴史的な施設が多くあることや、地盤トラブルへの懸念などから整備をやめるべき。
5	<ul style="list-style-type: none">・国の高規格堤防と都型のスーパー堤防は異なる事業だが、本編では合わせてスーパー堤防と記載しており、混同する懸念があるため、掲載を工夫するべき。・国のスーパー堤防は、安全面に懸念があることや、整備には長大な時間と莫大な費用が掛かることから、喫緊の水害対策としては別の工法などを用いるべき。・国のスーパー堤防は、水害時の避難場所になるとしているが、「江東5区大規模水害ハザードマップ」には、避難場所としての明示がない。

用語解説

あ行	
アクセシブル・ツーリズム	障害者や高齢者などが積極的に参加できる旅行のこと。
アスベスト	繊維状の鉱石で、綿のように軽いため「いしわた」と呼ばれている。気密性が高いことから、断熱材などの建築材料に使われてきたが、長年人が吸い込むと、肺がんなどの原因となることが明らかになり、平成 16 年から原則使用禁止になった。
アダプト制度	地域住民や企業、団体が、区の管理している道路や公園などの花壇の管理、清掃などを通じ、環境美化活動を行う制度のこと。
アメニティ	心地よさ、快適さ、快適性の意味。
あんしん歩行エリア整備事業	区の事業で、交通死傷事故の発生割合が高く、早急に歩行者や自転車の安全対策が必要な地区で、警察と道路管理者が連携して総合的な道路の安全対策を実施。
一団地の復興拠点市街地形成施設	市街地が備えるべき各種施設（住宅、事務所、医療など）を一団の施設として捉え、一団地の復興拠点市街地形成施設として都市計画で定めることにより、復興の拠点となる市街地を早期に整備することができる。
エコタウンえどがわ推進計画	「日本一のエコタウン」の実現を目指し、目指すべき温室効果ガスの削減目標を掲げ、目標の達成に向けた区民、事業者、区の具体的な取り組みを示した計画。
江戸川区基本構想・基本計画	本区の長期計画「えどがわ新世紀デザイン」（平成 14（2002）年 7 月）のことであり、「基本構想」は、区の将来都市像と基本目標を実現するための基本的な考え方や施策を示している。「基本計画」は、10 か年で区が行う施策や事業の進め方を示しており、平成 24（2012）年 2 月に「江戸川区基本計画（後期）えどがわ 10 年プラン」が策定され、現在、これに基づき施策や事業が実施されている。
江戸川区洪水ハザードマップ	浸水が予想される区域から安全に避難できるよう、浸水が予想される区域、浸水深、洪水時の避難場所などを分かりやすく表示した地図のこと。
江戸川区住宅等整備事業における基準等に関する条例	中高層共同住宅の開発や一定規模以上の宅地開発にあたって土地利用や緑化の基準などを定めたもの。
江戸川区耐震改修促進計画	建築物の耐震化をさらに進めることにより、地震に強い安全なまちを実現することを目的として策定された計画（平成 28 年改定）。計画当初の平成 18 年度に 82% であった住宅の耐震化率を平成 32 年度までに 98% にすることを目標としている。
江戸川区みどりの基本計画	地域特性を活かしたみどりの保全・創出を目的とした計画で、「水・緑、ともに生きる豊かな暮らし」を将来像に 3 つの基本方針と 70 の施策で構成されている。
江戸川総合人生大学	これまでの人生経験や知識を活かして、社会貢献を志す区民を応援するために、本区が平成 16 年に設立した学びと実践の場。

エネルギー マネジメントシステム	情報通信技術などを用いて、エネルギーの使用状況を適切に把握・管理することで、省エネルギーを実現する仕組みのこと。
エリアマネジメント	地域住民などの関係者が主体となって、にぎわいや活気の創出、良好な住環境の形成に取り組むなど、まちとしての価値や魅力を維持し、高める活動のこと。
延焼遮断帯	市街地の延焼を阻止するため、道路、河川、公園、鉄道などと、それらの沿線に建つ不燃化された建築物により形成される帯状の不燃空間のこと。
エントランスゲート	エントランスゲートとは「入口」や「玄関口」の意味。
音声誘導装置	視覚障害者に対して、自動音声により案内する装置のこと。
か行	
カーシェアリング	一人ひとりが自動車を所有するのではなく、一台の自動車を複数の人が共同で利用する仕組みのこと。
汽水域 <small>きすいいき</small>	河川の淡水と海水が混ざり合う場所のこと。
旧耐震基準	建築物の設計において適用される地震に耐えることのできる構造の基準で、昭和56年5月31日までの建築確認において適用されていた基準のこと。
共同化	複数の地権者が土地・建物を共同して建替えること。
共同荷捌き駐車場 <small>にさば</small>	特定の地区内において、物流事業者などが短時間の荷物の積卸しのために共同で利用する駐車場のこと。一箇所で荷捌きを行うことで、地区内のトラックなどの交通量の抑制や安全性の向上、環境負荷の低減が期待される。
緊急輸送道路	地震直後から発生する緊急的な輸送を円滑に行うために事前に指定された道路のこと。他に沿道建築物の耐震改修を義務付けている特定緊急輸送道路がある。
景観行政団体	景観法に基づく、様々な施策を行うことができる地方公共団体のこと。景観法の施行により都道府県、政令指定都市や中核市は自動的に景観行政団体となり、その他の区市町村は都道府県との協議・同意により、景観行政団体になることができる。
景観地区	良好な景観づくりを誘導する地区において、色彩や建物形状などのルールを定めることができる制度のこと。
景観まちづくり団体 登録制度	江戸川らしさのある景観づくりを進めるため、区民同士が交流し、互いの活動を高めあう機会をつくるために設立した制度のこと。
下水熱	下水や下水処理水が持つ熱のことで、気温と比較すると夏は冷たく、冬は暖かい。下水と大気の温度差を利用し、熱源として活用することで、空調や給湯などの省エネルギーを実現することができる。
健康寿命	健康上の問題がない状態で日常生活を送れる期間のこと。平均寿命と健康寿命の格差を小さくすることが求められている。
健康の道	本区では、身近な健康づくりの場として、親水公園・親水緑道や河川の堤防上などを「健康の道」として整備している。

公共車両優先システム (PTPS)	バスが交差点を通過する際に信号の制御を行い、バスの運行を円滑にする仕組みのこと。
交差点改良	交差点において交通の流れを改善するために、歩道や車道の幅を拡げたり、右左折専用の車線を新設したりする取り組みのこと。
耕地整理事業	耕地整理法（昭和 24 年廃止）に基づくもので、農地の生産力向上のために、土地の区画の整理や道路、かんがい排水の整備などを行う事業のこと。
交通需要マネジメント	自動車の効率的な利用や公共交通への利用転換など、交通手段の変更を促すことで、道路交通の混雑を緩和しようとする取り組みのこと。
高齢者向け優良賃貸住宅	高齢者の身体機能に対応した設計、設備となっているなど、高齢者に配慮された良質な民間賃貸住宅のこと。
コージェネレーション	発電するときには熱が発生することから、この熱を冷暖房や給湯に有効活用するシステムのこと。
さ行	
サービス付き高齢者向け住宅	高齢者の居住の安全確保に関する法律に基づく制度で、介護、医療と連携し、高齢者へ生活支援サービスを提供するバリアフリー構造を備えた賃貸住宅のこと。
<small>さいがいろ</small> 細街路	幅員が 4m に満たない狭い道路のこと。
再生可能エネルギー	エネルギー源として、永続的に利用できるエネルギーの総称。具体的には、太陽光、風力、水力、地熱、太陽熱、バイオマスなどがある。
塩の道	江戸時代、行徳（千葉県）で生産されていた塩を江戸市中に運んでいた航路のことで、新川は江戸市中に様々な物資を運ぶ水路として利用されていた。
市街地再開発事業	都市再開発法に基づき、市街地内の老朽木造建築物などが密集する危険度の高い地区などにおいて、建築物を除却し、新たに建築物を建築して高度利用を進めるとともに、道路や広場などの公共施設の整備を行う事業。
視覚障害者誘導用シート・ブロック	視覚障害者の歩行支援を目的に歩道や駅のプラットフォームなどに敷設されるシートやブロックのこと。
自助・共助・公助	「自助」とは、家庭で日頃から災害に備えるなど、自分の身を自分で守ること。 「共助」とは、地域で協力して消火や救出活動を行うこと。 「公助」とは区役所や消防・警察による救助活動など、公的な支援のこと。
次世代自動車	電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車、クリーンディーゼル自動車などのこと。
自転車ナビマーク	自転車が通行すべき区分と進行方向を路面に表示したもの。
<small>しゅうけい</small> 修景	地域らしい風景をつくるために行う建築物の改修など景観的な配慮のこと。
消防水利	消防用の水の供給設備の総称。

水素エネルギー	水素は、発電の燃料として活用することができる。このとき、二酸化炭素を排出しないため、低炭素なエネルギーとして注目されている。
垂直避難	建物の2階以上など、より高い場所へ避難すること。
スカイライン	建築物などと、空との境界線のこと。
すくすくスクール	小学校の放課後や学校休業日に、校庭・体育館などの施設を利用して、児童がのびのびと自由な活動ができる事業のこと。
ストック	「資産」の意味。住宅の場合、社会的な資産と捉えて「住宅ストック」と呼ぶ。
スポーツツーリズム	スポーツ資源とツーリズム（旅行）を融合した考え方で、スポーツを「観る」、「する」ために訪れる観光客を増やすとともに、観光客とスポーツを支える人々との交流を盛んにすることにより、地域の活性化が期待される。
生産緑地	良好な都市環境の形成を図るために指定される農地で、農地としての管理が義務付けられるが、税制上の優遇措置がある。
生物多様性	生き物の豊かさを表す言葉で、生態系、種、遺伝子の3種類がある。生物の多様性は豊かな生態系の保全をもたらしており、私たちの暮らしの豊かさも支えている。
ゼロメートル地帯	満潮時の平均海水面より低い土地のこと。
ゾーン 30	住宅地など区域（ゾーン）を定めて時速 30 キロの速度規制や、その他の安全対策を組み合わせ、自動車の走行速度や通り抜けを抑制する取り組みのこと。
た行	
大規模水害広域避難計画	大規模水害に対する対策をまとめた計画で、広域避難の対象となる大規模水害や想定事態、避難の対象者、避難方法、避難勧告の発令基準などを定めている。
大規模水害ハザードマップ	かつてない大型の台風が襲来するなど最悪の事態を想定して、荒川、江戸川が氾濫した場合の浸水の範囲や浸水深、浸水の継続時間を表示した地図のこと。
宅地化農地	生産緑地以外の都市の農地のこと。生産緑地のような営農継続の義務はないが、宅地並みの固定資産税が課される。
多言語表記	案内板などにおいて、複数の外国語による表記を行うこと。
多文化共生社会	国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化の違いを認め合い、対等な関係を築きながら、地域の構成員として共に生きていく社会のこと。
地域危険度測定調査	東京都を地震が襲った場合の地域の危険性を町丁目単位で数値化したもの。
地域共生社会	子ども・高齢者・障害者など全ての人々が、地域・暮らし・生きがいを共に創り、高めあうことができる社会のこと。
地域冷暖房	一定地域内の建物群に熱供給設備から、冷房・暖房・給湯を行うシステム。
地区計画	都市計画法に基づき、比較的小規模な地区を対象として、建築物の建築形態や公共施設の配置などから、一体としてそれぞれの区域の特性にふさわしい良好な環境の街区を整備、保全するために定める計画のこと。

地区防災計画	町会や自治会が作成する防災計画で、災害発生時の安否確認や救助、初期消火、避難活動などの手順や役割分担などを決めておくもの。
超小型モビリティ	自動車よりコンパクトで小回りが利き、環境性能に優れ、地域の手軽な移動の足となる1～2人乗り程度の車両のこと。
デジタルサイネージ	電子的なディスプレイを使って情報を発信するシステムの総称。
透水性舗装	隙間のあるアスファルトを用いて、雨水を地中に浸透させる舗装のこと。
どうひょう 道標	方向や目的地を示したもので、本区では旧街道などに石造の道標が今も見られる。
特定生産緑地	特定生産緑地は、生産緑地の指定から30年を経過する前に、所有者などの意向を基に、期間を10年延長する制度で、税制上の優遇措置を受けることができる。
特定整備路線	東京都では、災害時に避難や救援活動の空間ともなる防災上の効果の高い主要な都市計画道路を、「特定整備路線」として指定し整備を推進している。
特別緑地保全地区	豊かな緑を保全するために指定される民有の樹林地などで、建築や木材伐採が制限されるが、税制上の優遇措置がある。
都市型住宅	マンションなど、敷地を有効に活用した中高層集合住宅のこと。
都市計画区域 マスタープラン	都市計画区域の整備、開発及び保全の方針のことで、都市計画法に基づき都道府県が広域的な見地から定める都市計画の基本的な方針のこと。
都市計画公園	公園・緑地として必要な区域を明確化して、長期的な視点から計画的な整備を進めるため、都市計画に定める公園のこと。
都市計画道路	道路として必要な路線を明確化して、長期的な視点から計画的な整備を進めるため、都市計画に定める道路のこと。
都市づくりの ランドデザイン	目指すべき東京の都市の姿と、その実現に向けた都市づくりの基本的な方針と具体的な方策を示す東京都の計画。
土地改良事業	昭和24年に制定された土地改良法に基づき、農業の生産性向上などを図ることを目的に、かんがい排水施設や農道の整備、区画の整理などを行う事業のこと。
土地区画整理事業	土地区画整理法に基づき、道路、公園、河川などの公共施設の整備・改善及び宅地の利用の増進を図るため、土地の区画形質の変更や公共施設の整備を行う事業。
土地区画整理事業を 施行すべき区域	都市基盤整備が必要な地域として、昭和40年代に都市計画で定められたもの。地域の状況により、土地区画整理事業や地区計画などの手法を用いて、まちづくりを行う。
な行	
なごみの家	「福祉なんでも相談」、「誰でも集える交流の場」、「地域のネットワークづくり」の3つの機能をもつ、多世代交流や地域の支えあい活動の拠点となる施設のこと。

農の風景育成地区	比較的まとまった農地や屋敷林などが残り、特色ある風景を形成している地域について、将来にわたり風景を保全、育成するとともに、都市環境の保全、レクリエーション、防災などの緑地機能をもつ空間として確保する地区のこと。
は行	
バリアフリー	障害（バリア）を排除（フリー）することの意味で、熟年者や身体障害者などの生活行動に障害となるものを排除した環境のこと。
ヒートアイランド	都市部の気温が郊外に比べ高くなる現象のこと。
ビオトープ	「生き物」（Bio）が生息活動をする「場所」（Top）という意味のドイツの造語。
樋管 <small>ひかん</small>	堤防の下を通っている水路のことで、洪水時に水の逆流を防ぐための施設である。
被災市街地復興推進地域	震災などにより建築物の集中的な倒壊や面的な焼失が生じた区域では、被災市街地復興推進地域に指定することで、最長で2年間の建築制限を行い、健全な復興に取り組むことができる。
ピット	「穴」や「くぼみ」の意味で、建築物の床下にある配管の収容や雨水の貯留のために設ける空間のこと。
避難所運営協議会	災害時に避難所を運営することを目的とした学校・区民・区職員で構成する組織のこと。
樋門 <small>ひもん</small>	堤防の下を通っている水路（暗渠）のことで、洪水時に水の逆流を防ぐための施設のこと。樋管と同義。
複合災害	災害が起こった後にそれと同程度か、より大きな災害が続けて起きることで、本区では、地震によって被災したまちに巨大台風が襲来した場合などが想定される。
不燃化特区	「不燃化特区」とは、木造住宅密集地域のうち、特に重点的・集中的に改善を図る地区を指定し、都と区が連携して不燃化を強力に推進する制度のこと。
不燃領域率	「市街地の燃えにくさ」を表す指標で、70%を超えると延焼火災の危険性がほぼなくなるとされている。
ブルーレーン	自転車の通行帯（レーン）のことで、路面が青色（ブルー）に塗られて表示されていることからブルーレーンと呼ばれる。
防災都市づくり推進計画	木造住宅密集地域の改善に向けた東京都の計画で、震災時に特に大きな被害が想定される地域を「整備地域」に指定し、「整備地域」のうち特に改善を必要としている地域を「重点整備地域（不燃化特区）」に指定している。
防災船着場	災害や緊急時に物資や人員の輸送に活用できるようにした船着場のこと。
ホームドア	駅のプラットホームで、乗客の転落などを防止するために設置された設備のこと。
保護樹・保護樹林	区は、大木や名木を「保護樹」に指定し、その保全を図っている。また、区内に残る良好な樹林地を保全するために、「保護樹林」として指定する仕組みもある。

歩車分離式信号機	横断中の歩行者と右左折中の車両との衝突事故を防止するため、歩行者と車両とが交錯しないように制御された信号機のこと。
ま行	
密集住宅市街地整備促進事業	老朽化した木造住宅が密集した地域において、新たな道路・公園の整備、老朽住宅の建替え支援などを行う取り組みのこと。
ミニバス・コミュニティバス	交通空白地域や不便地域の解消を図るため、行政などが主体的に計画し、運行するバスのこと。行政などが直接運営する場合と、民間業者へ委託する場合がある。
木密地域不燃化10年プロジェクト	東京都が定めた制度で、都内の木造住宅密集市街地のうち大地震が発生した際、特に大きな被害が想定される地域を対象として、平成32年度までに重点的・集中的な取り組みを実施するもの。
モニュメント	記念碑や記念建造物的な建造物、彫刻などのこと。
モビリティマネジメント	過度に自動車に頼る状態から公共交通や自転車などを「かしこく」使う方向へと自発的に転換することを促す取り組みのこと。
や行	
ユニバーサルデザイン	年齢、性別、国籍、障害や能力の違いなどにかかわらず、誰もが使いやすい仕様や設計のこと。
用途地域	都市計画における土地利用誘導のための基本的な制度のこと。土地の効率的な利用、居住環境の保全などを目的として、建築物の用途や容積などを制限することができる。
ら行	
ライフステージ	人間の一生における幼年期・児童期・青年期・壮年期・老年期などのそれぞれの段階のこと。
ラムサール条約	湿地の保護と利用管理を目的とした国際的条約で、正式名称は「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」と言う。採択の地にちなみ、一般に「ラムサール条約」と呼ばれている。
流通業務地区	大都市における流通機能の向上や道路交通の円滑化などを図るために都市計画で指定する地区のこと。本区では、臨海町3丁目、4丁目において指定され、中央卸売場葛西市場やトラックターミナルなどを備えた東部流通業務団地として整備されている。
利用容積率	建築物の延べ床面積の敷地面積に対する割合のこと。
連続立体交差事業	鉄道を一定区間連続して高架化又は地下化することで立体化を行い、多数の踏切の除却や新設交差道路との立体交差を一挙に実現する事業のこと。
レンタサイクル	個人で自転車を所有するのではなく、利用者が共有して自転車を利用する仕組みのこと。

本書の 9、39、82、83、85、91、92、94、149、161、178、201、211、212、215、218、227、233、246 ページの写真について
江戸川文化写真連盟による提供

江戸川区都市計画マスタープラン

平成 31 (2019) 年 3 月発行

編集・発行／江戸川区都市開発部都市計画課

〒132-8501 東京都江戸川区中央 1-4-1

TEL : 03-5662-6368

デザイン・印刷／株式会社 総合環境計画

リサイクル適性(B)

この印刷物は、板紙へ
リサイクルできます。



